

ぐんま自治研ニュース

No.148

2026年5月25日発行

2025年度

一般財団法人群馬県地方自治研究センター公開セミナー

【対談】「凶悪・巧妙化する最新犯罪と対策」

1 公開セミナー

講師：梅本 正行（一般社団法人 日本防犯学校会長 / 防犯ジャーナリスト）・・・ 1

講師：桜井 礼子（一般社団法人 日本防犯学校学長 / 防犯アナリスト / 防犯ママ）

【司会】中林 真啓（群馬県地方自治研究センター評議員）



2 議会活動報告

自治労群馬県本部特別中央執行委員 群馬県議会議員 後藤 克己・・・ 34

3 シルバー人材センターの現状と課題

一般財団法人群馬県地方自治研究センター 理事長 黒澤 孝行・・・ 36

公開セミナー

「凶悪・巧妙化する最新犯罪と対策」

講師：梅本 正行 氏 講師：桜井 礼子 氏

令和8年2月28日（土）

【司会】 それでは、定刻となりましたので、ただいまより群馬県地方自治研究センター公開セミナーを開会いたします。



本日、司会を務めさせていただきます群馬県地方自治研究センター評議員の中林と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日の公開セミナーでは、一般社団法人日本防犯学校会長で防犯ジャーナリストの梅本正行様。

そして、同じく日本防犯学校学長で防犯アナリストの桜井礼子様をお迎えしております。

本日は「凶悪・巧妙化する最新犯罪と対策」と題しまして、昨今の特殊詐欺や強盗、空き巣などの現状、そして具体的な対策について、幅広くお話しいただきます。皆様にとって、防犯の知識を深め、安心安全な暮らしに役立てる貴重な機会となれば幸いです。限られた時間ではございますが、最後までどうぞよろしくお願いいたします。

これより講演に移らせていただきます。

まず、開演に先立ちまして、皆様に改

めてお願いを申し上げます。携帯電話をお持ちの方につきましては、電源をお切りいただくかマナーモードの設定をお願いいたします。

また、本日の講演内容の録音、録画並びにSNS等への投稿は固くお断りをしております。あらかじめ御了承くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

それでは、本日御登壇いただきますお二人を御紹介させていただきます。

まずは、梅本正行様です。梅本様は1964年よりセキュリティ事業に携わり、これまで8,000件を超える犯罪現場を直接検証してこられました。その豊富な知見を生かし、警察署での特別講師や捜査協力など、多方面で御尽力をされております。

現在は、防犯ジャーナリストとして、テレビや新聞などのメディアを通じ、独自の視点から予知防犯の重要性を発信されています。

また、地域の防犯ボランティアや防犯住宅の育成に励まれる傍ら、犯罪の起きにくい社会を目指す「防犯法」の設立に向けた活動も精力的に展開されております。

続きまして、桜井礼子様です。桜井様は、日本初の女性防犯アナリストとして梅本様の一番弟子として、共に現場の検証や取材に携わってこられました。御自身の子育てや介護の経験を生かし、子供、女性、高齢者の視点に立った分かりやすい防犯対策の解説に定評があります。

現在は、梅本様と共に事件を未然に防ぐ予知防犯の普及に努めていらっしゃいます。

それでは、お二人に御登壇いただきたいと思います。皆さんの大きな拍手をお願いいたします。

梅本様、桜井様、よろしくお願いいたします。(拍手)

【桜井】 皆さん、こんにちは、はじめまして、桜井です。本日はよろしくお願いいたします。



隣に座っているのが、ちょっと怖い、おっかない顔をしていますけれども、見た目と全然中身は違いますので、御安心くださいね。梅さんでございます。

【梅本】 皆さん、こんにちは。



【桜井】 こんにちは。

ねえ、先生、ちょっと気になるんですけど、すごい特等席が空いているじゃないですか。

【梅本】 だから、みんな、嫌々来ているんだ。

【桜井】 ちょっと寂しいかもしれない。

【梅本】 普通はあり得ないよ、これ、あ

り得ない。でも、これが今の群馬県の現状だね。そういう意味では来てよかった。

【桜井】 そうですね。

【梅本】 あり得ないですよ、全国、僕ら回っているけど、この状態。S席ですよ、S席。

【桜井】 本当、特等席ですよ。

【梅本】 だから、僕、議員さんだとか偉い人たちがいっぱい今から来るのかなと思ったら、誰も来ませんから、帰りたくなっちゃった。

【桜井】 できれば女性の方に、前に来ていただきたいかなと思います。

【梅本】 そう。これ、私からのお願い。勇気出して、ちょっとこの辺に座って。

【桜井】 お願いします。

【梅本】 女性の人。

【桜井】 お願いします。女性の方。

【梅本】 おじさんが座らなくていい。女性。

【桜井】 なぜかといいますと、やっぱり男性よりも女性のほうが犯罪被害に遭いやすいので。

【梅本】 もうちょっと女性が座るまで始めませんので。

【桜井】 はい、じゃあ待っていきましょうね、先生。

【梅本】 勇気出して来てください。お願いします。

【桜井】 お願いします。

【梅本】 来てください。

【桜井】 あ、うれしいです。

【梅本】 いいですよ、男の人でも、俺は心が女性だという人は来てもらっても。

【桜井】 どうぞ、どうぞ。前のほうに、ぜひぜひ。

【梅本】 早く。前のほうへ来た人は被害に遭う率が落ちる。

【桜井】 いや、でも、これね、笑いごとじゃないんです。本当なんですよ。

【梅本】 本当なんだって。

【桜井】 本当なんです。何かね、梅と桜の念が通じるみたいで。

【梅本】 まだ女性いる。来て来て。

【桜井】 ありがとう。

【梅本】 来たほうがいい、来たほうがいい。

【桜井】 うれしいですね、若い方に来ていただいて、ありがとうございます。

【梅本】 でも、何か無理やり来されている感じだよ。でも、いいの。無理やりでも何でもいいの。もっといたら来てください。お願いします。

【桜井】 お願いします。

【梅本】 いかに防犯に関心がないかがよく分かりました。これを盛り上げるには、今日は日頃の3倍から4倍の労力がかかると思いますが、これが僕の人生最後のセミナーぐらいの気持ちでやりますので、皆さんよろしくお願いしますよ。

【桜井】 よろしく願いいたします。(拍手)

【梅本】 最近、一連の強盗事件だとか、空き巣だとか、毎晩のように起きています。人が斬られたり、刺されたり、殺された場合だけニュースで大きく放映されます。そうでないやつは、さらっともう流れて終わりです。強盗事件、頭ば一んとたたかれても、その日の午前中に1回ニュースやったら、もうそのままやらないぐらいの、どんどんどんどんメディアがこれアホなものですから、分かってない、人が殺されたときだけやる、冗談じゃないよ。たまたま助かっているだけだぞって。荒っぽい手口って、皆さん、聞かれても、どんな手口か分からないと思います。よろしいですね。ここまでやってくるんだということだけは知っておいてください。

そして今日、どういう対策をしたらいいかも話をしますが、自分の中の知識として、こういうことやってくるんだな。何かいろいろなものを見ていたら、これ、この間見たVTRで、対策いいよなと思

うものは、自分でこれから対策をされればいいですから、今日はテレビショッピングじゃないものですから、これがいいよなんてやりませんので、だからその辺はしっかりと、ぼうっとして聞いていると全然駄目ですよ。

【桜井】 そうですね。皆さん、ここぞと思ったところは、ちゃんとメモを取っていただきたいですね。

【梅本】 今日はテーブルがなくてごめんなさい。自分の足をテーブルにしていたでいて、極力書いて、若い方が今日たくさん見えて、これもびっくりした。あまり経験がないぐらい、何かどこかの大学へ来て、私しゃべっているような気がします。

【桜井】 先生、ちょっと緊張しますでしょう、若い方だと。

【梅本】 いや、さっき緊張していたけど、もう今開き直ったよ。

【桜井】 開き直りですか。

【梅本】 うん、自分の孫が来ているなと思えばいいわけであって。

【桜井】 そうですね。

【梅本】 要は、お若い方が、友達とか、例えば彼女がいたら彼女、それから御両親、あるいは祖父母、そういう人たちに教えていただきたいネタがいっぱい出てきます。

だから、俺はいいわって、それで終わりじゃなくて、自分の周りで、あの人にこの話をしてあげたらいいな、会社の中の同僚の、あの子にこの話をしてあげたらいいな、アドバイスしてあげたほうがいいなと。

【桜井】 そうですね、若い女性の方は自分自身の身に置き換えて、いろいろと考えていただきたいですよ。

【梅本】 そうだね。そう言っても、私は大丈夫、自分は大丈夫って思っている人が多いんだね。いきなり聞きますよ、協

力してくださいよ。いや私は、俺は、やばいと思っていますよ、最近と思う人、手を挙げてください。

ほらほら。

【桜井】 お一人だけ。

【梅本】 これだけ言ったって、これだけ。

【桜井】 そうか。じゃあ、帰るまでに、やっぱり私も、俺も、僕もやばいなって思ってもらえるようにしたいですね。

【梅本】 ただ、今日はちょっとレベルが高いか分からないの。やばいとは思っていないけど、対策なんかは知っておきたいよな、どんな手口があるかは知っておきたいよなと思っている人が多いと思うの。

【桜井】 それとあと、防犯って何ぞやって、来ている方もいらっしゃる。



【梅本】 そう。だから、対策はやっぱり知りたいよなという人、ちょっと手を挙げてください。

ほら、ね。危ないと思ってないけど、対策は知りたい。すごい国民性だね、これ。県民性。珍しい。でも、気があることはよく分かりました。

ただ、聞き流して面白いな、楽しいな、怖いだけで終わってほしくないですから、今日のセミナーは恐らく一生に1回しか聞けないセミナーになると思います。

冒頭に、これも皆さんに協力をしていただきます。どっちかで手を挙げて下さい。よろしいですか。

とはいうもののね、あまり怖い話は聞

きたくない、苦手なんだよね、もう夢に出てくるのも嫌だしさ、そこそこの話でなきゃ私無理だなという人と、せっかく来たんだから、多少怖い話があっても、実際に起きている事件とか、そんなことも知って、参考になるなら参考にしたいな、怖いのはちょっと我慢しますと、この2つに分かれます。

聞きます。私はもう怖いのは勘弁してよという人、前者の人、手を挙げてください。

【桜井】 大丈夫ですか。先生、私責任取りませんか。

【梅本】 いやいや、問題は、次に何人手を挙げるかだよ。怖くてもいいから、せっかく来たんだから、ぴしっと何かちょっと身が引き締まるような、怖いのはもう我慢するから、そっちの話を聞きたいという人、手を挙げてください。



やったね。拍手ですよ。(拍手)

いや、これでね、最高のセミナーができます。事件から学ぶんですよ。これに勝るものないんです。教科書から学んだっでしょうがないんです。

どういう環境で、どういう犯罪者の手口でやられたか。そこの家が狙われた理由というのもあるんです。そこを今日は御紹介します。これはメディアではできません。

【桜井】 そうですね。どういう手口でやってくるのかというのを聞いていただいて。

【梅本】 我々は事件が、殺人事件までいっ

ちゃった事件は、現場に行って、ちゃんと手を合わせて、我々の気持ちもお話をさせていただいて、この事件は風化させません。全国の大勢の方に知っていただきます。見ていただきます。見ていただいた人が犯罪被害に遭わないように、天国から見守ってあげてくださいねって、手を合わせてお願いをしています。

もし、私たちがやっていることで腹が立ったときは、私たちに天罰をくださいと、現場に行ってお話をしています。

【桜井】 でも、確かに、事件をまず知ってくださいって、今先生おっしゃったじゃないですか。私もこの仕事に就いてすぐに、裁判所に連れて行かれたんです。どんな事件が起こっているのか、実際自分の目で見て聞いてこいってって。

一番初めに裁判傍聴したときは、気持ち落ち込んで落ちて落ちて、まして、それが女性が性的な被害に遭った裁判だったんですよ。もうその日1日、どーんと気持ちが重くて、変な話、食事もう喉に通らなかったぐらいです。

【梅本】 今でも覚えているよね、あのときのあなたの怒り。

【桜井】 先生、それ言わないでください。

【梅本】 いや、言うよ。今日の予定に入っていない話です。

【桜井】 打合せではなかったんですよ。

【梅本】 裁判所へ行くと、我々は一番前に座るんです。そうすると、三、四メートルぐらいのところに犯人が座っているわけですよ。人を殺したやつが、しかも女性をむごたらしい殺し方したやつがいる。

この人は帰るときに、柵があるんですけど、あの柵乗り越えていって、頭ぶん殴ってやりたかったですって。腹が立ってしょうがないって。

【桜井】 本当にそれぐらい怒りを覚えましてし、犯人に対してね。

【梅本】 それがまた、すごい凶悪事件で、

ある大学の女子学生さんが殺されちゃったんですよ。その殺し方から何から全部、裁判だから出てくるわけですよ。うわーっと思いますよ。もうテレビのニュースなんてもんじゃないですよ。ぐわーっ、怖いなんて通り越しますよ、裁判所へ行くと。手が震えてきますよ。

【桜井】 いやあ、本当、そうでしたね。

【梅本】 そんなことまでやったのかよと。

【桜井】 そうなんですよ。

【梅本】 ふざけんな、この野郎と。

【桜井】 はい。ニュースで報道されている事件だけじゃなくて、捕まった犯人が、じゃ、どういう事件をその事件以外に起こしてきたか、全部聞くわけですよ。こんなひどいことするやつ生かしちゃおけないとかって、本当に本気で思いました。

【梅本】 それで、その犯人が死刑が決まったんですよ、裁判員裁判で。裁判員で行っている人たちなんか、本当に、気持ちの中では、自分が死刑を賛成して、その人が仮に死刑になったら殺人者みたいになるから、死刑って出したくないんですよ、裁判員の方は、もう極力嫌だ。

でも、もうこいつは生かしておくわけにいかんぞと、ひど過ぎるぞって、死刑が決まった。

ところが、その人間が控訴をして第二審で無期懲役に変わっちゃったんですよ。はあって。だから、我々調べました。何でそうなったのかといたら。

【桜井】 腹が立ちましたよね、あのときに。

【梅本】 なった理由が。

【桜井】 そうなんです、死刑反対派の裁判長だったんです。

【梅本】 ただそれだけで。今、刑務所の中にいるんですよ、むごたらしいことやったやつが。

【桜井】 そうですよ。

【梅本】 そのときに僕思ったの。やっぱり犯罪者をどう扱うかどうするかよりも、

こういう犯罪の被害に遭わない社会環境づくりをしていかなきゃいけないな。

【桜井】 そうですね。

【梅本】 そうすると、あの凶悪犯人も、初めて事件を起こしたときがあったはずなんですよ。そこがうまくいかなかったら、犯罪って簡単に起こせないなという、加害者にもしなった経験がなければ、凶悪犯罪者になっていかない。

だから、我々は、被害者と加害者をつくらない運動をしていこうという思いで今日やっていますので、どうかひとつ皆さん方、本当にこんな話はめったに聞けないと思いますので、よかったな、いい話聞けたなと。

【桜井】 そうですね。

【梅本】 全部真実を話しますので、どうかひとつよろしくお願いします。

1つ、最近の手口のVTRがありますので。

【桜井】 見ていただきたいと思います。

【梅本】 こういう手口で今、犯罪者が来ますので、よく見てください。



(VTR開始)

(VTR終了)

【桜井】 皆さんいかがでしたか。ちょっと怖くなりました？ 怖いなと思った？

こうやって犯罪者って家の中に入ってくるんですよ。多分皆さんが想像している以上に、ええっ、こんな、うそって思っ

ていらっしゃる方、多いんじゃないですかね。

【梅本】 多分、身近で犯罪の被害が、先ほど会長さんもおっしゃってみえたけれども。

【桜井】 そうですね。

【梅本】 身近で被害が出ると、何となく分かるんだけど、でないと、何かこう、やっぱり他人事の世界にあるんじゃないか。例えば今日でも、もうニュースでやっているんですけど、愛知県で30代の男の人が自転車に乗っていたら、ぱっと、何か男が出てきて、拳銃のようなもの突きつけて、「金出せ」って言われた。そんな国ですよ、この国も。

【桜井】 路上強盗の拳銃ですか。

【梅本】 拳銃ですよ。ひったくりの世界じゃないです。何か横文字で「ギブ・ミー・マネー」って言ったらしいね。わざと日本人が言ったのかどうかも分からないですよ。でも、道路で、拳銃突きつけて、金が取られる時代になっちゃってるんだなと。この意識を果たして。

【桜井】 先生、本当そうですよ。

【梅本】 それを持てるかどうかよ。前橋じゃ起きないぞとか、場所関係ないからね、これ。

【桜井】 関係ないですからね。今まではひったくりで済んでいたものが、最近はもうひったくりなんてかわいいもんじゃないですからね。路上強盗になってきていますから。

【梅本】 ひったくりだってちっともかわいくはないけど。腹立つけどさ。

【桜井】 そうですけどね。それがどんどん凶悪化。

【梅本】 ちょっと皆さん、御協力していただきたいんです。すみません。面倒くさいですけど、協力してください。

俺は、あるいは私は、うちは、どんなときがあっても常々、人がいるいない関

係なく、窓や玄関、鍵がかかっていますよという人、手を挙げてください。

ありがとうございます。

いや、やっぱり結構開いているときあるよなという人、手を挙げてください。

やっぱりね。でも、すごい。いや、よかったです。これ多分、防犯意識の高い人が60%いることが分かりました。

今手を挙げてもらった人は何も心配要らない。

【桜井】 でもね、先生、それを裏づけることができる数字があるんですよ、ここに。群馬県内で、令和6年と令和7年、どんな犯罪がどのくらいあったのかというのが、ちゃんと群馬県警から数字が出ているんです。それ調べてきました。

そうしたら、群馬県の方たち、これは本当に身を引き締めて生活していただかないといけないと思います。

これね、住宅の侵入窃盗。住宅を対象とした俗に言う泥棒ですよ。これ全部増えているんですよ。空き巣、居空き、忍び込みと3種類あるんですけども、皆さんがイメージするのが空き巣なんです。

空き巣というのは、おうちに人がいないときに入ってくる泥棒のことなんです。

2番目の居空きというのが、昼間人が生活しているところに、こそっと入ってくる泥棒のことなんです。

【梅本】 人がいるのにね。

【桜井】 そうです。

3つ目の忍び込みというのが、人が夜寝ているときに、こそっと入ってくる泥棒のことを言います。

群馬県は、空き巣も、居空きも、忍び込みも、全部増えているんですよ。怖いと思ったのが、忍び込み、皆さんが寝ているところに入ってくる泥棒、これが6年と7年比べると、70%も増えているんです。

【梅本】 増えているんですか。70%増え

ているんですか。

【桜井】 増えているということなんです、忍び込みは。

【梅本】 分かった。もうしゃべるより、忍び込みがはやっている地域で起きた愛知県の事件があるから見てもらいましょう。

【桜井】 はい、じゃあ、それをお見せします。

【梅本】 今日は、いろいろ、本当はセミナーのために話も内容も決めていたんですけど、若い人がこれだけ多いので、全部なしにして、反応を見ながらやっています。そうすると今約4割の人が、まだまだ完璧に鍵をかけてないということですので、ちょっと見ていただきますね。

これ、まだ犯人が捕まってないんですよ。国道から県道に入ったところですよ。これ。これしばらく行くと、警察の管轄が変わるんです。

ですから、ここで1つ学べます。数分車で走ったら、もう違う市だ。そうすると警察の管轄が変わります。そういったところというのは事件が多いんです。そうですよね、犯行を起こして、すぐ管轄の外へ出ますから、典型的な場所なんですけど、道路を走っていくと、目立つ家です。

【桜井】 ここのうちです。

【梅本】 ここで事件が起きまして、私も現場に何回も行っているんですけど、お盆休みのときに、御主人だけ1人、家にいた。奥さんは九州の御実家へ帰ってみえた。娘さんだとか、若い人たちはよそで生活している。

御主人が、お盆休み、のんびりと生活をしていたときに起きた事件なんです。このうちの実は周りをよく見ていただきたいです。田んぼになっているんですよ、これ。こうなっているんです。こういう環境です。これ、林も一緒です。人目がない、人けがないところ、夜になると真っ

暗。ここですよ。夜になると真っ暗な環境ですよ。これ、犯罪者がすごく仕事ができやすいんです。

ですから、ひったくりもそうですし、痴漢もそうですし、暗いところというのはすごく犯罪が起きます。

特にこの現場は、この周りで防犯パトロールやっている人たちが、パトロールの回数を増やして、運動していた。何の運動かといったら、さっき、学長が言いましたけれども、寝ているところへ入ってくる忍び込みという犯罪が増えているので注意してくださいと言っていたわけですよ。それは、お金を取られないように注意してくださいじゃないんですよ。忍び込みで来るやつというのは、何か凶器を持っているんです、脅かすために。これが圧倒的に多いんです。

この事件は、まさしくそこにぴたっとはまったんです。多分これ同一犯です。なぜか、この事件の後、周りで忍び込みという犯罪がゼロになりましたから。連続してやっていたやつが、最後に、ここで、人を殺す気もなかったのに殺さざるを得ないようになってしまった。この家でも学ぶことができますので、よく見ておいて、犯人は、この裏のほうの田んぼ側のほうから入ったんです。

ここから見てもらうと分かりますけれども、あそこに 3 枚の窓がありますね。あの一番下から入ったんですが、ここで学んでください。窓の下は室外機、これはめちゃくちゃ危ないですから、もし御実家、御自分の家に、窓の下に室外機があったら移動してもらってください。これが足場になるんです。ここから入られるというケースはめちゃくちゃ多いですから。この犯人は、この裏へ回って、3 枚ある、10 センチぐらいしか開かないんですよ、この窓は。お風呂場の窓なんです。この御主人はお風呂に入って、ほかは全

部シャッターを下ろしたり、戸締まりも全部やったんだけど、湿気を出すために、10 センチぐらいしか開かないから、安心してそこを開けて休んで、2 階に行ったんですよ。ところが、10 センチあれば手が入るんですよ。そして、この男は金具を外して、そうしたら窓はパカンと開いちゃうんですよ。そこから入ったんです。音もしないです。

それで、1 階を荒らして、2 階に上がっていったら、御主人の部屋があって、そこを開けた瞬間、横になっていた御主人が気づいた。それで、その部屋でもめっちゃって、何十か所も刺されて殺されちゃったという事件。すごいショックな事件です。日頃、戸締まりを一生懸命やってる人なんですよ。ただ、周りでそういう忍び込みという犯罪が多いということ、果たして知っていたのかどうかも分かりませんが。

皆さん方にぜひ、今日お見えの人、若い方が多いですから、今、学長が話をしました、こういった認知件数とか検挙数、こういった数字をネットでも調べられます。調べ方を今から桜井が言いますので、時々、自分が住んでいる家、そこら辺でどんな犯罪が増えているんだろうか。これはぜひ知っていただいたほうがいいです。検索の仕方を今から言いますので、控えておいてください。

【桜井】 まず、「群馬県警」で検索をしてみてください。そうすると群馬県警のホームページというのが出てきますので、ホームページをカチャッとクリックしていただくと、「統計」というところがあります。その「統計」をカチャッとクリックしていただくと、こういった県内で起こっている犯罪の発生状況だったりとか、あとは市区町村別で起きている事件の認知件数だったりとかが出ていますので、群馬県警のホームページ、いろいろと見てい

ただきたいと思いますね。



《ネット画像：群馬県警公式防犯アプリ》より

【梅本】 例えば、市区町村別でも見れますので、それを見ていただいて、自分の家の近くは、例えば自動車が盗られちゃう。こういう犯罪件数増えているというときには、自分の車のことを心配して、センサーライトや何かをつけたり、常夜灯をつけて、ガレージのところを明るくしてください。まず、明るくしてください。明るくなっていると被害に遭う率がどんと落ちますから、ちょっとしたことですけれども、そういった対策をしてもらうということです。

【桜井】 あと、この被害に遭ったおうち、犯罪者というのはやっぱり下見をするわけですよ。どういうところで下見をしていたかという、ここに駐車場があるんですよ。

【梅本】 今カメラで映しているのは駐車場、コンビニの駐車場から映しているんです。

【桜井】 このコンビニの駐車場、車が停まっても私たちって気にしないじゃないですか。そうすると犯罪者がゆっくりじっくり下見ができる場所になっちゃうんです。

なので、コンビニに駐車場があるところの近くに住んでいる方というのは、やっぱり注意をしていただきたいなと思います。

【梅本】 近くというよりも、そこから下見ができる、人の出入りが分かる、そういう環境です。今から言いますので、すみません、該当した人は手を挙げていただきたいと思います。いいですか。

家の周りが、田んぼじゃないけど、畑があるとか、林になっていて夜になると真っ暗になるという人は手を挙げてください。御実家でいいですよ。ありがとうございます。

今手を挙げていただいた方は、犯罪者が狙ってきて当たり前の感覚なんです。しかし、そこに夜、建物に近づいたら、パンとライトがつくとか、これが物すごく有効的なんです、外から見られますから。奴らは昼間、それを、道路を歩きながらちゃんとチェックします。あそこは、あそこへ行くとライトが照るな。ましてやその横に、ネット通販で買ったやつでいいですよ。カメラでも1個ついたら、あそこやめよ、やめるんですよ。全部来るんじゃないんですよ。やめる家とやる家がある。これでやめてもらうことが大事なんです。よろしいですか。

だから、ライトがつくように、「センサーライトがついているな。」「カメラがちゃんと作動するようになってるな。」そこをチェックします。

ですから、目で見える対策をやる。これが一番大事なことです。

それから、今、コンビニの駐車場と言いましたが、今から言います、これも協力してくださいね。該当する人は手を挙げていただきたいと思います。

パチンコや遊技場、その駐車場から、うちは人の出入りがあるか見えるなという人、手を挙げてください。この人は要注意ですから、気をつけてくださいよ。

ある侵入犯が捕まりました。どこでその家の下見をしていたんだと思いますか。パチンコ屋さんの駐車場から見ていたんです。

【桜井】 あと、先生、パチンコ屋さんの駐車場とか、あと遊技場の近く、遊技場の駐車場からというのもありましたけど、最近はドラッグストアってあるじゃない

ですか。

【梅本】 そう、これが多いんです。しかも遅くまでやっているじゃないですか。

【桜井】 その駐車場から下見されていたというのもあるんです。

【梅本】 ドラッグストアとかファミレス、これも遅くまでやっています。それからスーパー、大きいスーパー、そういった駐車場からうちが見えるなという人は手を挙げてください。お一人見えるね。その方は要注意でございます。

私たちは、今のように、手口もちゃんと研究して、対策も勉強しますが、どういう環境に住んでいる人が狙われやすいかという犯罪者の心理に基づいて、裁判に行くとそういうのは全部分かるんですよ。事件から学んだ情報を、皆さんに提供しています。それ以外のものもいろいろありますけれども、特に件数が多いのを今、私は話をさせていただいていますから、その辺のことは誤解がないようにしていただいて、お願いしたい。

それから、家の並びがあります。住宅が並んでいますね。うちの家は、あるいは私が住んでいるアパートは、マンションは、並びの一番端っこなんだという人は手を挙げてください。

この人たちも要注意でございます。

今日は危ない環境から来ていただいている人が多いですから、真剣に聞いていただきたいと思います。次はうちに来るかも分からない。そうやって考えたって別に、インフルエンザ対策と一緒にですよ、対策をしていけば、被害に遭う率はダウンと落ちますから。

【桜井】 あと、先生、ここの被害者の自宅の近く、ここの前の道をちょっとこっちのほうに歩いていくと、駅があったんです。駅の近く、徒歩 10 分圏内ですかね。特に、いろいろな路線が入り込んでいるターミナル駅に近い方、徒歩 10 分圏内だ

なという方。

【梅本】 前橋とか、お見えになりますね。そういう方も、昔古来の、俗に言うこそ泥、泥棒系というのが。最近は車を使う犯罪が圧倒的に多いです。

じゃ、次聞きます。自分が今住んでいるところ、あるいは実家、よろしいですね、車でインターまで 10 分あれば行っちゃうなという人、手を挙げてください。はい、お願いします。いるじゃないですか。これです。脅かすわけじゃないですよ。

奴らは捕まりたくないんです。逃げる一番の大事にしていることは、高速に近いことです。高速に乗って逃走します。

この後、犯罪者が下見をするときに、いろいろな特徴がありますので、どこをどう捉えて、どういう行動を取ったらいかなということもお話をしますので、今手を挙げていただいた方は、そのコーナーはしっかりと聞いていただきたいと思いますね。よろしいですね。

それから、もう一件、空き家の隣の話もしてあげてください。

【桜井】 そうですね。空き家は誰もいないじゃないですか。そうすると、空き家の隣に住んでいる人が、最近物騒なんです。今、空き家泥棒というのもあります。空き家に入って、空き家は結構いろいろなものが置いたままなんです。そこから盗品だったりとか、中には現金が何千万も出てきたうちがあるというぐらいなんです。

だから、空き家が近くにあると、空き家を狙っている犯罪者にも目をつけられますし、実際、空き家の隣で被害に遭っているといううちもあるんですよ。

さっきみたいにガラスを割って入ってくるといってケースが圧倒的に多いんですけども、空き家側のガラスを割ると、こっちは空き家ですから、その音は聞こえませんか。空き家側のガラスを割っ

て、こっちの隣のうちも聞こえないわけですよ、ターゲットのうちの隣ですから。だから、空き家の隣といううちは、すごく危険だということです。

【梅本】 だから、後ほど対策を話しますので、その中でやれることは極力なさっていただいたほうがいいのではないかと思います。

【桜井】 さっきのVTRにも出てきましたけれども、県境とか市境は、警察の管轄と管轄のはざまになるわけじゃないですか。そういうところに住んでいらっしゃる方はいらっしゃいますか？

【梅本】 ちょっと車で走ったら、すぐ隣の市に行っちゃうという人。ありがとうございます。そういう方も、ちょっとスペシャルなところに住んでいますので、目立つ防犯をしましょう。目立つ防犯。いいですか、目立つ防犯ですよ。このうちやめよう、外から見て、彼らがやめようと思うネタがありますので、後ほど話しますから、別に引っ張るわけじゃないですけど、不安だけ与えて、今日はお疲れさまでしたって終わりませんから、安心してください。

今、いろいろな手を挙げていただきました。結構たくさんの人たちがいた。その人たちがどういう対策をしたら、「犯罪者が実行を起こす前にやめる」という防犯があります。予知防犯というのは、そういうことなんです。被害に遭ったからやる対策じゃない。どういう対策をしておくか、犯罪者がやめていくか。この家、ちょっと意識高いな、やばいな。この対策はお話ししますね。楽しみにしてもらえばいいのではないかなと思います。まず、皆さんの目を防犯の目に、これからしていただきたいと思います。

それで、そのために、私は今からお話をします。下見に来る場合も、犯行を犯すときも、彼らの共通点というのが実は

あるんですよ、そういう人間がうろうろしていると。

さっき私、ここの控室からずーっと外を見ていたんですよ。この辺の住宅の人たちは、どうなんだろうなと。車は40台ぐらい前を通っているんですよ。人は2人しか歩いていない。まるでゴーストタウンだよね。これ、今どこへ行ってもそうなんですよ。人が歩いていない。すると人の目がないんですよ、地域の人の目。今日お見えになっている方々には、私はめちゃくちゃお願いをしたいんです。目を輝かしていただきたい。悪いやつが走っていたら、俺キャッチしたよって、そういう目になっていただきたいんですよ。ぜひお願いをしたいと思います。

まず、特に1番目、いいですか。車の前と後ろのナンバーが違う車。分かりますね、どんな車か。110番を即してください。車の中でいいです。私の前の車が前と後ろでナンバー違うんですけど言うだけで結構です。すぐ来ます、パトカー。これはほとんど、犯行を今からしようと思っているか、犯行をして逃走するときの車、ほぼ間違いないですから、そんな車にびたっとついて走るとはやめていただきたいと思います。

それから、どこかの駐車場へ行ってもそうです。お住まいの周りに停まっている車もそうです。ちょっとコンビニに行っても、ちょっと今日のことを思い出したら、この車前後でナンバー違うよと。こいつは一発です。皆さん方、部品盗という言葉を知っていますか。今、空き巣とか忍び込みとか、家の中に入ってくる犯罪あるでしょう。部品盗という犯罪があるんですけど、知っている人、手を挙げてください。

【桜井】 お一人いらっしゃいます。

【梅本】 あらま、お一人様、ありがとうございます。知っていただいただけで感

謝。実は、ナンバープレートを盗られる、これがめちゃくちゃ多いんです。すごいですよ。自動車を盗んでいくやつだとか、それから住宅に強盗に入り込んでいるやつら、容疑車両、トランクの中開けたら、何十枚とナンバーが入っているんです。それが、全部盗られたナンバープレートなんです。ナンバープレートを盗って、それを売るんじゃないんですよ。犯罪者が全部闇で売れるんです、ナンバープレートが。彼らは、逃走するときもナンバープレートを付け替えたりして、今移動しています。陸運局のほうも、ナンバープレートに関してはやり方を考えなきゃいけない、あまりにも簡単に交換することができる。あれも何とかしていかなきゃいけない。

犯罪者が、部品盗というのは、先ほど学長が言いました、犯罪の中身は全部チェックできますから、そこで部品盗という数字があるときには、自分の車もナンバープレートを盗られないように、盗られないようにといっても対策のしようがない、毎日外すわけにいかへんしね。このところですよ。自分が自宅に停めている場合は、車の周りが明るくなるようにセンサーライトをつけるのもいいですけど、夜、共同駐車場、有料駐車場に停めてある。月極駐車場に停めてある人、手を挙げてください。はい、お願いします。月極駐車場、少ないですね。

月極駐車場に停めている方は、その管理会社、その駐車場を管理している会社とかオーナーさんのほうに、暗いからちょっと明るくしていただきたいんですけどと言うと、ほとんどのところは明るくしてくれますので、それはやってもらうといいと思います。

自宅に関しては、誰かが車に近づいたら、パーンとライトが照る。これだけで、そんなライトの下でナンバープレート外

していきようなやつはいませんので、どうかそういった光を活用していただきたいなと、そんなふうに思います。

【桜井】 先生、今ナンバープレートの話出たじゃないですか、前後違うナンバープレートだと不審車両だから、すぐに110番してくださいということで。ほかにも不審車両の要素はありますよね。

ちょっとそちらを御覧いただきましょうか。皆さん、メモを取っていただきたいと思います。



【梅本】 これは、日本防犯学校として警察庁のほうにこうやってセミナーに行きます。行ったときに、このネタをもって不審車両だと思って110番していいですかと確認取りました。そうしたら、全然オーケーですと、どうかよろしくお願いしますと。本当は警察がやらなきゃいけないことなんだけど、なかなか広報が苦手な団体ですので、今一生懸命お願いしています。

このネタで凶悪犯罪者捕まったケースいっぱいありますから、おいしいネタです。しっかりと吸収していただきたい。

【桜井】 ナンバープレートに平仮名ありますよね。平仮名のところが「わ」もしくは「れ」のレンタカーです。

【梅本】 「わ」あるいは「れ」。

【桜井】 のレンタカーです。

【梅本】 これだけで110番するのはやめてくださいよ。大変なことになっちゃい

ますから、パンクしちゃいます。まず、これが1つ。

【桜井】 次に、ナンバープレートが他地域ナンバー。この辺のナンバープレートって何ですか、「前橋」か何かですか。「群馬」。だから「群馬」以外のナンバープレート。

【梅本】 「群馬」で一くくりですか。もう少し、せめて市ぐらいで。

【桜井】 市ぐらいで分かれていると。

【梅本】 いいかなと思いますけど。

【桜井】 御自身が住んでいる地域外のナンバー。

これが先ほどの前と後ろで違うナンバーになっている。

【梅本】 これ、赤になっています。こいつの場合は、これだけで電話してください。

【桜井】 これ1個だけでいいですから。

【梅本】 1個だけでオーケーです、これは。

【桜井】 次に、不審車両というのは人が乗っています。その車に乗っている人の顔がすぐに判別できない。今いいですよ。皆さんマスクしている方が多いじゃないですか。マスクをしていたりとか、サングラスをかけている、帽子をちょっと深くかぶっている、人の顔がすぐに分からないという車です。ふだん停まっていなくて、最近、何か見かけない車がちょこちょこ停まっているとか、何かその車がぐるぐるこの辺走っているのよねと。

この3以外、4つ。3はこれだけで110番してください。それ以外に、レンタカーだわ、この地域以外のナンバーだわ、車の中の人の顔がすぐ分からないじゃない、最近ちょこちょここの辺で見かけるのよね、何か走っているのよねというのがあったら110番通報してください。

【梅本】 自分が住んでいる家の周りって分かるじゃないですか。ここをしっかりとチェックしてください。よそへ行ったときに、これは分かりませんが、この

3を除いて4つヒットしたときには110番していただきたいと思います。お願いをしたいと思うんですよ。

【桜井】 お願いします。

【梅本】 皆さんの目が光れば光るほど、犯罪者にとって都合の悪い環境になっていきますので、ぜひお願いしたい。

【桜井】 そうですね。110番通報は、皆さん、すごく敷居が高いと思うじゃないですか。おととい京都府警でお話をさせていただいたんですけど、もう何か心配なことがあっただけでもいいです。それだけでも構わないから110番してくださいというふうに警察の方がおっしゃられていました。

【梅本】 今、警察の力だけでは何ともならない状況なんですよ、犯罪が多発していますから。我々の目と、それから110番する勇気と、これをぜひお願いをしたいと思います。

【桜井】 先生、不審車両をやりましたが、不審者って、皆さん、お分かりですか。

【梅本】 俺みたいなやつだろう。

【桜井】 言う前に言われちゃいました。(笑)

【梅本】 俺みたいなタイプは、かえって安心です、泥棒やりません。意外と。まさかあの人がというのはやばいですから、顔だけで決めるのはやめましょう。

【桜井】 そうですね。

【梅本】 ただ、自分が見ていて、何、あの人、何かちょっとおかしくない、人の家の敷地の中、きょろきょろ見てたりね、いいですか、マンションなんかでも洗濯物いっぱいじろじろ見ていたりとか、しょっちゅう後ろを振り返っているとか、そんなやつがいたら不審者です。

そういうのが、自分が住んでいるエリアで見たときには110番してください。だけど、前橋の一番人がたくさんいるところへ行ったら、みんな不審者になっちゃいますから、そこは無視してもらって、住んで

いる周りではしっかりやっていただいて。

今私たちが話した中で、何か御質問ないですか。

【桜井】 何かこのところよく分からないんだけど。

【梅本】 何でも結構ですよ、何でも結構です。

【桜井】 ここもう1回話してくれませんか、説明してくれませんかということでも大丈夫です。

【梅本】 何でもいいですよ。

じゃあ、あちら。今日は質問、全部無料でございますから、遠慮なく質問して。はい、どうぞ。

【質問者】 ありがとうございます。防犯対策の中でセンサーライトが有効だというような話があったかと思うんですけども、そのほかに、家の対策の中で、犯人が犯罪を起こしにくい見える防犯ということで、何か対策するもので効果的なものがあれば教えていただきたいと思います。

【桜井】 ありがとうございます。

先生、打合せしました？ あの方と。

【梅本】 してないよ。

【桜井】 何かすごい、出来レースみたいなすごくいい御質問いただいて、ありがとうございます。

【梅本】 最高。実は、でも、それ種明かしすると、最後の締めで使うネタなんですけど。

【質問者】 じゃあ、やめます。

【梅本】 今お話が、大丈夫ですよ。

【桜井】 大丈夫です。

【梅本】 これも、皆さんもよく知りたいと思うんですよ。防犯対策というのは、これ覚えていただいて、いいですか、まずは音。

【桜井】 音です。

【梅本】 音です。

【桜井】 音を活用する対策です。

【梅本】 人の声なんか一番ですよ。例えば、誰かが入っているのが、カメラを見て映ったら、「こらあ、何やってんだ、おまえ」って、まず99%逃げますから、

それから、犬がわんわんけたたましくほえた、これもそうです。

それから、防犯砂利って知っている人、手を挙げてください、防犯砂利。これは結構よく知っていますね。これをたつぷりと、戸建てだったら勝手口の前だとか掃き出し窓の下だとか、建物の裏へ回っていくところだとか、そこにたつぷりとまいてください。大体厚みで5センチぐらい。これお願いがあるんですけど、1袋買って行って、伸ばして使わないようにしてくださいね。いるんですよ。防犯砂利買ったけど、音鳴らないんだけどと言われたから、どのぐらい敷いたんですかと、1袋買ってきて伸ばして使ったって、鳴るわけじゃないじゃないですか。5センチぐらいね。

【桜井】 防犯砂利を敷くときの注意点がありますよね。



《ネット画像》より

【梅本】 そうだね。最初に除草シートというシートがある。これもホームセンターで買ってくる、高いものじゃありません。そのシートを敷いて砂利を乗せると沈んでいけないから、音が大きい音に、この防犯砂利、特に若い女の子には、お風呂の窓の前、お風呂の窓、ちゃんと締めているから大丈夫とか言っているんですけど、自分で1回、家族やほかの人が入っているときにお風呂場を外からの

ぞいて見てみるといい。すると、ほとんどが曇りガラスになっています。お風呂の窓というのはそうだね。中には網入りガラスになっている。

だから、お風呂に入って、窓を締めておけば、中見えないと思うじゃない。ところが、のぞきの専門やっているやつは、レベルが高くなってくると、まともに見えるのは面白くないんだって。変な世界だな。シルエットを楽しむような、想像力を高めるんだって。

言っておきますけど、変態の心ですかね、これは変態の。

ちゃんと窓に鍵かかっている、安心して駄目です。変なやつは来ます。

だから、まずはお風呂場の窓はできれば、100均に行くと、このくらいの大きさの簾みたいなやつ売っています。あれを格子の内側にちょっと締めてぶら下げておくんです。そうすると見られません。そのくらいのことはやりましょう。そうしたらシルエットが分からないから。その窓の下に防犯砂利を敷くんです。のぞきやなんか来たときに、お風呂場の窓の下へ来ただけで大きな音が鳴ったら、そんなところでお風呂のぞくバカはいませんから。できればそこに、お風呂場の窓に近づいたときに、パーンと光るセンサーライトをつける。

この音は、さっき手口の動画を見てもらいましたね、ガラスを割って入ってくる。こじ破り、焼き破りは、これはパリンと言わないからくせ者なんですけど、どちらにしてもこういう音が鳴らない方法でガラスを割ったときに、一瞬にして部屋の中でピピピピッと、すごい音のするアラームが今ある。

【桜井】 先生、どういうものか画像を見ていただきましょうか。

【梅本】 いいよ。これ、今すぐたくさんあちこちに出ています。これはガラス

アラームという商品です。ガラスに誰かが攻撃をかけてくると、ガラスが割れるとき、ひびが入るときに、その周波数を拾って大きな音が鳴るんです。

【桜井】 こちらがそうです。

【梅本】 こういうのがあります。

【桜井】 これがガラスアラームというんです。

【梅本】 これは窓のところに貼り付けるだけです。こういったものを貼り付けておくと、ピッとやったときに音が出る。なおかつ、音が鳴って、それでも入ってくるばかりはいますから、それを入らせないようにするために補助錠ってあるんです、補助錠。

ここで注意してほしいの、100均なんかで売っている締めつける補助錠は駄目ですよ。あれは止め金具ですから。補助錠というのはどういうのかといたら、今画面に出しますけれども、鍵がついているんですよ。それで、レールみたいな鉄のギザギザがついているやつをサッシ枠にペタッと貼って、そこに鍵をさしたり、カチャカチャと動かす。鍵がないと動かないタイプの補助錠があります。これはいいですよ。

【桜井】 画像が出ました。これがレールになっているわけですよ。このレールの裏に両面テープがついているので、サッシ枠を、まず、きれいに拭いてください。それでピタッとくっつけていただいて、ここの鍵を、この鍵穴に差しして、回さないと、この本体が取り外しできないです。

【梅本】 回さないと動かないです。だから、ガラスを割って、手を入れても取れない補助錠、すごくいいでしょう。だから、夏場にちょっと自然の風入れたいと思うときは、これを窓の真ん中よりもちっとこっち、10センチぐらい開けていれば、涼しい風が入ってきます。それ以上開きませんから。こういったものを、お若い

方は御実家で、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんたちのためにつけてあげるとか、特に掃き出し窓。

【桜井】 15センチ以上は開けないようにしてください。

【梅本】 ぎりぎり15センチだね。

【桜井】 そうですね、15センチ以上は開けないようにしていただきたいと思います。

【梅本】 さっき手口の動画を見てもらったときに分かると思いますけど、あんな小さいものでもこれぐらい、25センチあったら、私とあなた、似たような体型、入れちゃいます。やばいですからね、びっくりですよ。何センチから入ったという最高、私たちがいろいろ調べた、20センチから入るやつがいます。怖いですね。自分はいれないけど、盗人は入ってきますからね。20センチは危険な数字だと思っていたきたい。

まずは音。次にセンサーライト、こういった光です。

光のところでちょっとお話しします。いいですか、これ、皆さん方、正直に協力してください。まず、今一人住まいやっている人、手を挙げてください。結構見えるな。あとは家族ですね。

家族みんなが留守にした、例えば土曜日、日曜日出かけた。そうすると、夕方になってもまだ帰ってこない、みんな。御飯食べて帰ってくる。今だったら、もう5時半ぐらいになったら暗いじゃないですか。その状態で、家の中はほぼ真っ暗ですねという人、手を挙げてください。はい、お願いします。ちゃんと挙げてください。終わるまで挙げてて。

いかに怖い環境で生活しているかということですよ。

ありがとうございます。

これ専門に狙っている空き巣犯を宵空きという名前がついているぐらいなの、空き巣の中でも。宵の口に入る空き巣、

これが全国で一番多いんですよ。

まだ今はその宵空きの対象になる季節なんです。夏になると日が長いから。この時間だと、まだ家に帰って、明るいうちに帰ってこれないんですよ。一番怖いのは、この時間に、夕方を攻めてくる宵空きという空き巣がいる。それが留守かどうかを見るのに、家の中が真っ暗の家を探すんです。そして、今だったら夕方5時半ぐらいに真っ暗なところをインターホンを押して、返事がない。そうしたら裏へ回って入ってくる。怖いのは、そこへ帰ってきてがち合うことなんです。これが一番怖い。さっきの忍び込みと同じぐらい怖いんですよ。

じゃあ、どうしたらいいか。いいですか。家の中にある光を利用するんです。リビングが一番いいかも分かりません。リビングの照明です。これを、朝出かけるときにリビングの照明だけつけて出ていく。いや、そんなもの、電気代がもったいないという人は、リモコンにタイマーがついているやつがあります。それで夕方何時になったら照明がつく。こういうものに交換をしていただく。

【桜井】 あと、先生、もっといいものがあるじゃないですか。

壁のところのスイッチありますよね。あのスイッチ自体をタイマーつきのものに換えることができるんです。

【梅本】 これは家電を扱っている、大型家電さんがやっているところなんかに行くと、お願いをすると交換してくれます。そういうあけたらタイマーという、スイッチの蓋を開けたら、中にタイマーがついている。それをセットしておけば、季節に合わせて、今ぐらいの時期だったら4時半ぐらいに電気がつく、夏場だったら6時半から7時ぐらいにつくようにセットしておけば、家の中に誰もいなくても、リビングの電気だけがパッとついてくれる。

【桜井】 そうですね、今、画像をお見せしますね。



《ネット画像》より

【梅本】 これは光の活用なんです。

あとは、誰かが近づいてきたらパーンと電気が出る。この攻撃型の光を使う。

それから御実家の照明です。いいですか。玄関灯、門灯、勝手口灯、これが代表的なものです。これは夜になったら自動的につくようにしてください。御実家へ帰ったら、そういうふうにお父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんに言ってください。夕方になったら、ちゃんと外についている電気がつくようになったほうがいいよと。そう言う、お年寄りの人は、勝手口なんか誰も通らへんから、そんな電気つけんでもいいよと平気です。今まではいいけど、これから駄目だよ。電気はつけたほうがいいの。極力つけたほうが、泥棒をやろうと思っているやつは、この家、防犯意識高いなと思ったらやめるんですよ。奴らはやめる権利もあるんですよ。やめるのは、やめた家はどこなんだというのを、僕は徹底的に調査しました。そうしたら犯罪者が、夕方になって、家から光が漏れているうちというのはやめるし、外から見たときに、門灯や玄関灯がついているうち

は防犯意識が高いと思ってやめたという情報がありますから、これは対策にぜひ使っていただきたいと思います。

【桜井】 こちらに出ているのが、あけたらタイマーで、壁のところのスイッチがタイマーになるものです。

【梅本】 ここで電気がつく時間を全部調整することができます。

【桜井】 セットできるんですよ。実際に私も使っているんですけど、すごく便利です。今、玄関灯とか勝手口灯とか門灯とかつけておいてください。夕方、通りから一番見える部屋の電気がポッとこれでつくようになりますよね。そしたら、それを明け方までできればつけておいていただきたいんですよ。そうすると、部屋の中の電気はついているわ、門灯もついている、玄関灯もついている、勝手口灯もついているということ、夜中に来る忍び込みは嫌がる家になります。

【梅本】 それと最近、トクリュウの関係で入ってくる強盗事件も、ほとんどが真っ暗なんです。外も中も真っ暗です。真っ暗な時間のところへ、やつらは入ってきます。明るいうちは嫌だって、彼らは本当に人に見られたくないんです。ですから、明るくすることは強烈な防犯対策になると思ってください。音と光。

次に、時間というのが、さっき補助錠の話をしました。錠がないと動かない補助錠。それから、ガラスを割って入る動画も見てもらいました。簡単にガラスを割っても貫通しない防犯ガラスというのがあります。これを特に掃き出し窓、これは怖いです。一番入られます。できることであれば、御実家に防犯ガラスをやったらいいよ。

ちょっと値段が安いやつになると防犯フィルムというのがあります。これも自分で買って貼るフィルムはやめてください。

【桜井】　そうですね、ホームセンターで売っている防犯フィルムというのは、あまりお勧めできません。

【梅本】　ホームセンターで働いている人には申し訳ないですけど、気休め防犯になっちゃいます。フィルムが貼ってあっても攻撃された家が結構あります。なぜかといったら、どこからどこまでフィルムが貼ってあるか分かるんですよ、外から見て。そうすると、その横のところを割って、手を入れたら、開いちゃうんですよ。これ意味ないから、防犯フィルムをやるときには、業者さんに頼んで施工をしてもらいた。

【桜井】　ガラス全面に貼ってもらうようにしてください。

【梅本】　そのときの安くなるコツは、2社で見積もってください。はっきりとその業者さんに、安いほうに頼もうと思っていますからって言ったら、指し値は全然違いますから。ほかにまだ1社あるんだな、そこと相みつなんだなといったら値段がどんどん落ちてきます。業者の人に貼ってもらうということです。時間をかけさせる。

【桜井】　この時間をかけさせる建材のことをCP建材といいます。

【梅本】　さっき簡単に小窓のところをカッターで切って入っていったじゃないですか。あれはアルミだからですよ。簡単に切れる格子なんです、普通の格子は。ところが、CPマークのついた防犯格子というんですけれども、この格子はカッターで切れません。簡単に外すことはできないんですよ。そういうのもあるということで、皆さん方、お若い方はぜひ知っておいていただきたい。



《ネット画像》より

【桜井】　CP商品には、こういったたくさんものがあります。防犯ガラス、防犯フィルムもそうですし、玄関のドアだったりとか、鍵だったりとか、そういうものがありますので、CP建材というのは、皆さんパソコンとかスマホとかで検索していただいて、うちはこういうものを採用しようかなというので、少しずつ増やしていただきたいと思います。

【梅本】　さあ、これで音と光と時間、出てきましたね。時間をかけさせる。この時間をかけさせるというのが、目安は5分になっているんですよ。この5分がどこから出ていったかという、警察庁が刑務所の中に入っている侵入犯罪者の常習犯からデータを取ったんです。

泥棒ばかりやっているやつがですよ、入るのに5分たったらやめるよと、7割いたんですよ。70%に影響を与えるなら、じゃあそういう建材をつくろうといって、それでテストをやって、合格したのがCP建材です。シャッターは簡単にこじることもしない。格子も簡単に壊せない。それからドアなんかは、バールで簡単に開かない、今いいものがありまして、出せるかな、鎌鋌。これはぜひ皆さん方、若い方は知っていて。御実家の玄関ドア、これをチェックしてください。それから勝手口の扉も。ドアというのは、鍵を締めるとガチャんと、こうやって入りますね、デッドボルトが、これが普通じゃないですか。鎌鋌というのは、ガチャんと

中でかんでくれるんですよ。こういうのが今出てきました。この鎌鋌にすると、バールで、そんなもの何ぼやったって、簡単に外れずに、かむんです、あそこの一番上にあります、ぐっと。普通に入っているやつはパッと開いちゃうんです、バールで簡単に。これは開きません。

こういったものが、今はいい防犯建材がありますので、そういうものを使う。音、光、時間をかけさせる。

その次に……。

【桜井】 先生、どうでしょう、もう1時間たったので。

【梅本】 そうですね。休憩を少し取りましょうか。

【桜井】 休憩を取ったほうがよろしいですか。それともこのままやりますか。どうします。

【梅本】 じゃあ、聞きましょう。

ちょっと休憩が欲しいなという人、手を挙げてください。

【桜井】 どうでしょう。

【梅本】 身内の方だけだから、続けてやろう。

【桜井】 よろしいでしょうかね、続けても。

【梅本】 すごいですね。

【桜井】 大丈夫ですか。続けてやっても大丈夫ですか。

【梅本】 この話面白いから、もっと続けてやってくれという人、拍手して。(拍手)

【桜井】 ありがとうございます。

【梅本】 すみません、無理やり拍手させて。でも、熱心に聞いていただけるから、普通なら休みたいばかりだから休憩取るの。取れる目じゃないの。皆さん方、すごいい目しているんですよ、今。防犯意識が高まっている証拠なんですよ。本当は休憩したい、私は。だけど、我慢する。皆さんと一緒に、このいい感じで来ましたから。

【桜井】 大丈夫ですか、先生。たばこは

大丈夫ですか。

【梅本】 倒れたら倒れたときだから。

音と光と時間が来ましたね。

次に、これが今日一番いい情報なのですが。これは、本当は休憩してから一発目でやろうと思ったんだけど、最高だよ。すばらしいよ。

いいですか。皆さん方、防犯カメラは知っていますよね。防犯カメラを知らない人いないよね。いたら退場だよ。防犯カメラは知っていると思うんだよね。

じゃあ、聞きますよ。110番映像通報システム、これが今あること知っている人、手を挙げてください。

お一人見えるよ。すごいな、1人いただけでも、すごい。皆さん、手を挙げていない人、拍手して、拍手、お一人の人に。(拍手)

すばらしいことなんですよ。こんないいシステムはもっと公にして、バーッと情報を出さなきゃ、何で情報を出さない。愛知県警の偉い警視がSNSで言いました。皆さん方、センサーのついたカメラをつけてください。普通、防犯カメラというのは、普通のカメラだけじゃないですか。実はそこにセンサーが入っているんですよ。

どんなセンサー。例えば、自分のところの家の庭、あるいは、裏の勝手口の前、裏に回っているところの通路、こういうところ怖いじゃないですか。そこにこのカメラをつけます。誰かがそのエリアに入ってきたら、パーンとカメラから、まずライトがパッとつくんですよ。場合によっては、キャッキャッキャッすごい音が出るんですよ。場合によっては、スマホから、「何やっているの、あんた」って声も出るんですよ。そういう今カメラがあるんですよ。すごいカメラがあるんです。



《ネット画像》より

一番いいのは、センサーカメラのワンランク上の A I カメラというのがある。A I のやつ出てきましたね。

A I とセンサーカメラの違いは、センサーカメラは動くものみんな拾っちゃうんですよ。猫が来たとか、犬が来たとか鳥が飛んだとかというと、全部来ちゃうけれども、A I カメラは設定ができて、人間だけにピタッとピントが合わせられます。人間以外は反応しません。だから、そこへ誰かが入ると、スパーンとスマホに映像を送ってくるんですよ。24 時間、スパーンと。そこから声出してもいいし、大きな音を出してもいいし、ライトをつけてもいいし、あるいはライトも音も光も一切使わないで、自分だけで見るともいいんです。

何がいいかといったら、110 番するとします。「こちら 110 番、事件ですか、事故ですか」そこから始まります。110 番映像通報システムというのは、どういうものかちょっと見てもらいます。

(映像開始)

【解説】 あなたのスマートフォンが事件解決や事故への対応に役立ちます。110 番映像通報に御協力ください。

2023 年 4 月から、スマートフォンを使用して事件や事故などの動画や写真が送信できるシステムの本格運用が始まりました。例えば、外で大きな音がしたので、自宅のベランダからのぞいたら、トラックが横転していた。ドライバーは無事なのですが、道路が通れなくなっている

ので 110 番通報したとします。

【警察】 はい、110 番、警察です。事件ですか、事故ですか。

【女性】 事故です。トラックが横転して道をふさいでいます。ドライバーは無事の様です。

【警察】 場所はどちらですか。

【女性】 ○○1 丁目 1 番地です。

【警察】 分かりました。道路をふさいでいるとのことですが、その映像を安全な場所から撮影いただくことはできますか。

【女性】 はい、向かいの建物の 2 階にいますので大丈夫です。

【警察】 では、電話をスピーカーにしてください。

【女性】 はい。

【警察】 これから、今おかけいただいているスマートフォンにショートメッセージを送りますので、メッセージを開いてください。

【警察】 届いたショートメッセージに URL があるので、それをタップすると、110 番映像通報システムにアクセスできます。

最初に表示されるのが留意事項。ここで映像送信に必要なデータ通信料金は通報者負担となることなどに同意します。

次に、位置情報とカメラの利用許可を求められるので、両方とも許可してください。カメラが起動し、撮影開始をタップします。撮影中に撮影してほしい場所などについて、警察から電話で依頼することがあります。

このとき、撮影している動画がリアルタイムで警察へ送信され、その情報を基に、現場に派遣する警察官に必要な指令を行います。

また、例えばひったくり犯を見かけて、とっさに写真を撮影した場合など、スマートフォンに保存した写真も警察に送信することができます。通報者は周囲の安全

を確保した上で 110 番通報をし、事件、事故などに関する写真や動画を撮影したことをお伝えください。URL が記載されたショートメッセージが届きます。先ほどと同じ手順で、送りたい写真や動画を選んで送信するだけ。

映像があると、事件や事故の現場状況や犯人の服装が明確になるので、その後の対応に大きく役立ちます。

110 番映像通報システムにぜひ御協力ください。

(映像終了)

【梅本】 すごいでしょ、これ。このシステムすごいなと思った人、手を挙げてください。

やった、大成功ですよ。これですよ、これこれ。

皆さん方、お友達にも話してほしい、同僚にも、職場の人たちにも話してください。

何かあったら今、スマホにポンと画像を送ってくるカメラがあるから、それをつけるといいよ。例えば勝手口の前だとか、車を荒らされたり盗られたら嫌だと思ったらガレージのところでもいいです。

道路を歩いている人は拾っちゃ駄目ですからね、そういうカメラは。普通のカメラは道路まで見えるように映しているんですよ。だけど、AI カメラなんかは人をみんな拾っちゃうから、歩いている人も、しょっちゅう拾ったらみんな嫌じゃないですか。だから、ここからここ、ちょっとでも入ってきたら一発でこれが働くな。

例えば今、自動車を盗んでいくやつなんかいます。リレーアタックというような手口や何かいろいろ使って。そんなやつが敷地で、ポンと車のそばへ近づくだけで、パーンと光って、そしてキャッキョッキョッキョと大きな音がして、光がパーンとついたら、大体車を盗もうなんて思ったやつは一目散で逃げますから。しか

も、ただ、そこへ来た動画だけは絶対ありますから、犯人がそこにいなくても 110 番すればいいんです。「今、変なやつが車に何かしようと思って、敷地の中へ入ってきた動画があるんですけど」といったら、すぐに送ってくださいと言いますから、警察は。動画を見たことによって、現認して、動いてくれるんです。こんな時代が来たんですよ。すごいんですよ。

もっとコマーシャルやればいいんだけど、やらないんです。ほとんどの人が知らないんです。これをどうか今、こんな便利な方法ができたぞということで、また、センサーカメラやAI カメラも数千円から数万円で今いっぱいありますから、そんな何十万もするやつは必要ありません。ネットで買えるレベルのもので結構です。とにかく動画がパンッと送ってくる。もちろん自分の部屋でもいいんですよ。留守のところへ誰かが入ってきたら、ポンと映像を送ってきたら、自分の声で、「何やっているんですか、あんた。すぐ警察来ますよ」って言ってやってもいいんですよ。あるいは、何も言わないで 110 番してもいい。

とにかく動画が来て、それが録画されているという、このいろいろなスマホの機能とカメラの機能が合体して、そこに警察も、御協力します、犯人逮捕のためにすぐ飛んでいきますという、官民が一体となったシステムがやっと今、出てきた。3 年前からこのシステムがあっても、センサーカメラやAI カメラのほうが遅れていたんです。今グーッと一緒になってきて、合体しましたから、どうか、くどいように言います。センサーカメラかAI カメラ、センサーカメラは動くもの全てキャッチしちゃいます。鳥や動物や、枝が揺れたりするとキャッチしちゃう。しかし、AI カメラは人に設定しておけば、人だけをキャッチしますから、こう

いったものをうまく活用していただきたいと思いますけど、よし分かったという人、手を挙げてください。

【桜井】 ありがとうございます。

先生、AIカメラは屋外向け、センサーカメラは屋内向けと覚えておいていただいたらいいかもしれない。

【梅本】 屋内向けでもいいんだけど、猫を飼っていたり、犬を飼っていたりするとセンサーカメラは受けちゃうから。

【桜井】 でも、センサーカメラでも、何か動いたときに反応するように、アプリで自分で設定ができるんですよ。実際に、テストケースで、これ使わせてもらえませんかとお願ひした室内カメラがあるんです。それも、出張とかで事務所に誰もいなくなるときというのは、誰かが入ってきたときに動体検知というんですけれども、入ってきて、動きを察知したときに、スマートフォンに連絡が来るように、アプリで全部設定ができますので、そういった使い分けがいいかななんて思います。

【梅本】 そうだね。皆さん方、お若い方は何とでもアプリの操作できますから、これがいいなと。高いお金を今払わなくても、このすばらしいカメラ技術を活用した防犯体制が出てきましたから、今日見えている若いメンバーが広めてほしいんです、この地域の中で。「おまえ、AIカメラ知ってる？」みたいな。もう自慢げに話してください。広げてください。群馬の人はみんな知っているよ。そうならもらったら、一番喜ぶのは群馬県警でございます。犯人検挙、愛知県警はそれで現行犯逮捕して、報道で、愛知県警の警視が、「皆さん、センサーのカメラつけてください」とやったんです。大受けになったんです。すばらしいものが出てきました。今日来た一番のお土産はそれでございます。

【桜井】 そうですね。

【梅本】 よろしいですね。音、光、時間、目の代わりのカメラ、そして最後に通報、今5つありましたね、ネタが。車の前のナンバーと、ナンバーが後ろと前、番号が違う、すぐに通報、110番です。

それから、今の動画を送ってきたときも、110番、通報です。音、光、時間、目、通報、この5つが防犯対策の極めつけのものです。やれるものをやってください。ありがたいことに今、ネットで調べれば安いものもいっぱいありますから、これいいなと思うものはどんどん御実家や、それから、祖父、祖母の家なんかにもちょっとやっていただきたい。

まず、すぐできる方法は明かりです、明かりの対策と防犯砂利なんかを使っただけとということでございます。

【桜井】 あと、それと、先生、やっぱり狙われる家というので、こういうところから見える家の方いらっしゃるかと、いろいろ話をしたんですけど。

【梅本】 怖い事件をちょっと紹介します。すみません。こういう環境で、こういう事件が起きたというのを、ちょっとお話をしますので、見ていただきたいと思ひます。すみません、ちょっと暗くしていただけると助かります。

この事件は、これは建築屋さん、住宅の建築をやっている人たちに、事件現場へ行って、事件の話をします。ここでこういう事件が起きた。あんたたちはこういう事件が起きないような住環境をつくらなきゃいけない。ここで亡くなった人たちに手を合わせて、こういう犯罪が起きないような住宅をつくっていく努力をしていきますということを誓ってくれと私はお願いをして、現場で手を合わせてます。

この事件は、もう随分昔になるんですけれども、40代の御主人と30代の奥さんと、それから3人の子供さんが住んで

いる家だったんです。

この住宅というのは 500 軒ぐらいがずーっと建っている団地みたいなところ。ここに、刑務所から出てきて 1 週間ぐらいしかたっていない、ちょうど秋になりかかった頃です。もうすぐ 9 月、涼しくなっていて、夕方になると寒いなと思う頃に、刑務所出てきて 1 週間になって、着るものが欲しいなと思って、どこかの家に入ろうと思って、留守の家に入る専門の泥棒で、刑務所にも行っていた。いつもの調子で留守の家を探していたら、ここの駐車場に車がないから、ここは留守だなと思ったのと、ここの立地の前、どうなっているか。道路の反対側。

【桜井】 ここに、うちが建っていました。

【梅本】 この道路の反対側が、これが実際に被害に遭った家なんですけれども、こういうふうになっているんです。

【桜井】 このうちの道路の反対側。

【梅本】 真っ暗です。畑です。

この辺も多いです、こういう環境は。道路の向こうが畑になっていると、そこは暗いから、畑に照明ついているところなんかないんですよ。そういうところを歩いて、ガレージに車がない家を探していて、たまたまこの家が見つかったんです。

何でガレージに車がないかといったら、奥様が深夜、ファミリーレストランでアルバイトを試みえた。

【桜井】 深夜は時給がいいじゃないですか。

【梅本】 それで、夕食が終わったら、じゃあ、ママ行ってくるね。御主人は役場の関係で働いていたから、いつも夕方早く帰ってくるんです。御飯食べて、ママ、いっていらっしやい。事件が起きた日もそうやって送り出した。

そこへこの犯人が、夜、もう深夜前です。歩いてきて、車がないから、ここ留守だな。寝ていて、家の中が真っ暗です。

1 階のお隣のすぐ前に高窓があるんですけど、その高窓から家の中に、音がしない方法でガラスを割って入りました。

それで 1 階のリビングにある、ちょっとした着るものとか、それから冷蔵庫から食べ物とか、洗濯機の中にある服とか、2 階には上がらないで、1 階のリビングだけにあるものを、自分が持ってきた袋に入れて出てくるときに、証拠を隠すためにカーテンに火をつけた。

この男は、侵入、窃盗、放火の常習犯だった。自分が入ったところを火をつけていく、留守の家に。そして、自分が入った証拠を隠すという、そういった癖がある。いつものように火をつけて出ていった。2 階に御主人と 3 人のお子さんがいました。裏の家の人は、煙が出るところで気づいて、奥さんの職場に電話して、「あんたのうち、火事だよ。」奥さんは急いで帰った。また、すぐ 110 番、119 番していただいた。消防車もいっぱい来た。奥さんが家のそばに来たときには、もう火の海です。

これ、写真がちょうど手に入ったからお見せしますが、普通のおうちでございます。

御主人と家族 3 人は助け出されたんです。病院に到着したときに、4 人とも絶命です。

今まで同じようなことをやってきた犯人が、最後に、家族 4 人を殺して帰らぬ人になったんです。

すごい悲惨な事件です。自分は人を殺す気なんかなかった。留守だと思ったから火をつけた。ここが裁判で認められて、こいつ 4 人も人を殺しておいて、無期懲役で刑務所にいます。

どういう罪になったかは別として、着るものが欲しいと思っているやつが、留守だと思える環境をつくっていたことで入られて、そして火まで放たれた。

私は、ここの家がもし、裏へ回ってセンサーライトがついたら、裏へ回っていくときに、敷地を歩いたときにジャリジャリ防犯砂利が鳴ったら、裏の窓が、防犯ガラスや防犯フィルムが貼ってある窓だったら、被害に遭わなくて済んだんじゃないかな、そう思います。

我が家を、実家を、安心安全な環境をつくれるのは皆さん方の知識を生かした防犯対策になってくると思います。大げさなことをする必要ありません。ホームセンターへ行ったら、今いろいろな防犯のグッズがあります。1度でいいですから、近いうちに、お休みのときに見に行ってください。これええな。これいいわ。ちょっと勇気を出して購入して、取り付けてもらう。そして、まずはおじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんも含めて、「鍵かけなあかんで、まず鍵かけな。泥棒の被害に遭っている5割は無施錠らしいからね。まず鍵かけたら、5割助かるから、そこからいこうや。

あとは音を使ったり、光使ったりする対策なんかを学んで、聞いてきたから、やれることこれから俺やっていくよ。」

これが自主防犯です。自分でできる防犯でございます。ぜひ分かっていただきたい。ここの家も、家の前が真っ暗な畑だった。

次に、今度。

【桜井】 あとは、ちょっとここでまた、皆さんに御協力いただきたいんですけど、公園から、自分の住んでいる家が見えるよという方、近くに公園があるよという方。

ありがとうございます。

【梅本】 しっかりと聞いていっていただきたいと思います。

【桜井】 近くに公園があって、被害に遭われたうちです。

【梅本】 今から映す、愛知県で起きた事

件ですけども、これはまだ犯人が捕まっていなくて、懸賞金がついている。今からその現場を見てもらいます。ごめんなさい、ちょっと怖い話だけど、ちょっと我慢して。

【桜井】 被害に遭ったうちが、ここです。ちょっと高齢の御夫婦が住んでいたうちです。犯人はどこから入ったかというと、ここに高窓があったんです。そこを、さっき一番最初に見ていただいたようなVTRに出てきた、こじ破りという手口があるんですけども、音が鳴らない手口でガラスを割って、家の中に侵入しました。

【梅本】 窓に格子はついていたんですけども、簡単に外されちゃったんです。そして入られました。

問題は、下見をしていた環境です。

【桜井】 どこで下見をしていたかというと、ここの目の前が公園なんです。結構大きな公園だったんです。

【梅本】 この公園の、ここにベンチがあります。この事件が起きる前に、本当にたくさんの人数、十人前後の人間が毎日のようにこの公園でキャッチボールを大人がやっていたり、見たことがない、近所の人じゃない。周りにアパートやマンションがいっぱい建っているものだから、どこの誰だか分からない。近所の人には、最近すごいね、若い人たちがしょっちゅう公園に来ているねという話をしていたんです。ここで何時間もたむろしていた。そして、ここの家の様子をどうも見てみたいなんです。

公園というのは、本当に分からないんですよ、どういう人が来るか。ここに問題があるんです。ベンチがある位置が、そこに座ったら、ここから見える家、まともに見えるというところは、ちょっとベンチは下げたほうがいいんです。

特に公園なんかで、ブランコだとか、滑り台だとか砂場、そっちに向いて、ベ

ンチが設置してある。そこへ座ると、頭が後ろになっちゃって、道路から顔が近所の人は見られない。こういうベンチは怖いんです。

【桜井】　じゃあ、どういうベンチか見ていただけますでしょうか。

【梅本】　そうだね、その後でいこうか。

この事件が起きてから、何と、その10人近い若者たちが誰1人来なくなったんですよ、翌日から。警察のほうも、その連中が下見をした上において実行したんだなと思われているんですけど、この現場検証に行きました。どこから犯人は、通路のところのこの棚の裏に、棚の奥に窓がある。そこから入ったんですけど、どうなっているか裏へ行ってみようと思って、行きました。神社です。家の隣や裏に神社がある。非常に危ない関係です。

神社というのは、見たことない人がいっぱい来ます。近所の人は人を怪しみません。不審者扱いされないんです。神社やお寺は人が来るところですから、知らない人が来ても気にしない。それがもう慣れちゃっているんですよ。人に対して、車に対して鈍感になるんです。犯罪者はそこに乗じてくるんです。

この犯人、今回やった犯人は、この裏の神社の境内から入ってきて、ここが今の家の裏なんです。この裏のブロック塀、ここに足かけて上がって、中へ入っていったら、今の窓があるんです。こういう環境なんです。

裏も表も、表は公園になったら誰も人はいませんよね。表も裏も人の目はなくなるんです。昼間は公園から下見ができるんです。

ですから、先ほどから私がたくさんの人に、こういう条件の人、手を挙げてくださいと挙げていただいた方は、うちはある限り安心してないほうがいいな、やれる対策はやろう、まずは音と光から入っ

たほうがいいな。それから簡単にガラスから入れんように、ガラスも防犯フィルムか防犯ガラスやったほうがいいな。特に近所で、地域の中で、空き巣なんかが起きた人は早急にやられたほうがいいです。たまたま今回はその家がやられただけです。犯罪者はそこで、そういう犯行をしやすい、何か環境があるはずなんです。次に自分の家がやられても、おかしくないんです。だから、1つの地域の中で3件4件やられていること、いっぱい行っています、私たちは。犯罪者にとって都合のいい環境、今日いろいろなところを言いました。それがあるところは、どうしても犯罪が起きやすいんです。これだけいろいろな犯罪が起きてきた、しかも人の命を何とも思わない犯罪が増えてきた。

若い人たち、今日お見えになっている人たちが防犯意識を高く持っていて、そして、どういう対策があるか知識を働かせていただいて、やれる対策をやっていただきたいなと思いますね。これはぜひ私からお願いをしたいと思います。

【桜井】　じゃあ、どういう公園のベンチが嫌だ、危ないかというのをお出しします。

【梅本】　これは、また、小さな子供さんが、今日、若いお嬢さんたちもいっぱいいます。また、男の人も、これからまだ結婚を控えているような人もいっぱいいるし、既にもう小さい子供さんがいらっしゃる方、ちょっと聞いてみようかな。小さい子供がいますという人、手を挙げてください。幼稚園、小学生。結構見えますね。そういう人はよく聞いていてくださいよ。

どういう公園で子供が声かけ事案をされたり連れ去られたか、代表的な多発している公園を取材してきました。

一番大きな問題はベンチなんです。よく聞いていくと、そのお兄ちゃん、ベンチに座っていた。そのおじちゃん、ベン

ちにいた。いつもベンチに座っているものだから、顔見知りになっちゃっていたんですよ、子供と。こんにちは、こんにちはと、こんな間柄になっちゃって、親は知らないんですよ。そして、地域の人たちは、顔が見れない公園なんですよ。

どういう公園か、代表的なところを映していますので、見てください。

【桜井】 この公園です。このベンチに犯人が座っていたそうです。ベンチがありますよね。この後ろに通りがありますよね。通りを通っている人からは、こういった状態で、どういう人が座っているのか全く顔が見えなかったんですよ。

【梅本】 これも、声かけ事案が多発しているところで。

【桜井】 ここに座って、ゆっくりじっくり、遊んでいる子たちを観察していた。さあ、今日はどの子に声をかけてみようかな、今日はどの子を写真で撮ろうかなというので、じっくりゆっくりこういう状態で見えていた、観察していたということなんです。

【梅本】 ここでお願いをしたいのは、行政ともパイプのある、今お仕事をしている方、あるいはボランティアでやっている方、行政機関と顔見知りの人がいる。地域の中の公園を、道路から見えないベンチは移動したほうがいいよというアドバイスをしていただきたいと思います。

群馬県は、たくさん私見てきています公園。危ない公園がいっぱいあるんです。犯罪者がそこへ座ったら、人が出かけていく、留守かどうかよく見える。だけど、自分の顔は見えない。そういう公園。子供たちを観察してても、道路から自分の顔は見られない。そういった公園がたくさんあります。

そういう公園は危ないということを、何かの機会で、もし役場に勤めている人でしたら、土木課の方か、そういう方に

話をしていただいて、公園のベンチというのは犯罪者にとってすごく都合がいいものらしいよ。犯罪者が嫌がるベンチにしたほうがいいと思うよ。この間、セミナー聞いてきたからということで、ぜひお話をしていただきたいと思います。

俺だけそんなことやったって、その1人の思いと、1人が提言をするその一言で、たくさんの犯罪を防ぐことができる可能性が高いんです。

【桜井】 あと、公園以外にも、月極駐車場が隣にある家、ここも危ないです。

あとは、鉄道の沿線沿いにある家、ここも狙われやすい家になりますので、十分に対策をしていただきたいと思います。

もうそろそろ時間もなくなってきましたまいました。

【梅本】 次、質問を受けます。どなたか、何でも結構ですよ。何でもいいです。どうぞ。一番奥の方、すみませんがマイクをお持ちください。お願いします。もう今度いつ会えるか分からないですから、聞いておきたいことがあったら聞いてくださいよ。お願いしますよ。どうぞ。

【質問者】 うちが田んぼの中にある家です。先日、バイクを引きながらずっとうちの前にいる男がいて、近所の人から声をかけてくださったら、そのバイクを売るのがここだって言って、ちょっと不審に思われて、110番してくれました。そうしたら、警察来てくれまして、盗難車だったんですけど、そういうことがありまして、ちょっと防犯の意識を高めていまして。センサーの、防犯カメラを2台買いまして、つけたり、あと光、人が通ると光るものをつけたりはしたんですけど、それぐらいしかしてなくて、今防犯砂とか敷いてみようかなって思うんですけど、ほかに何か、今、センサーと光と砂利をしたんですけど、絶対ほかにもやったほうがいいというのがあれば、

教えていただけるとうれしいんですけど。

【梅本】 ありがとうございます。すごいもう対策やっていらっしゃる。一番いいのは、さっき最後に話したAIカメラ、これの高いもの、二、三万でいいのありますから、そういうのを敷地の中だけ。これは道路まで見えないように。ほかのカメラは道路まで見えていいんですよ。逆に道路も見えたほうがいいんですけど、AIカメラ、センサーのついたカメラは敷地の内側です。そこに誰かが一步でも入ってきたら、バーンとスマホに送ってくるカメラ、こういうカメラをぜひおつけになられると、自分でもつけられるタイプがいっぱいありますので、やられたらよろしいかと思います。ぜひやってください。カメラから光も出ますから。

【桜井】 あと、敷地に簡単に入れない環境というのも、できたらつくっていただきたいですね。

【梅本】 これね、非常に厄介な話なんですけれども、皆さんにちょっとイメージを湧かせていただきたいなと思っているんですけど、例えばここが道路だとします。いいですか。ここで聞きますよ。うちの実家、アパート、マンションじゃないですよ。実家、今住んでいるところは、玄関の横にインターホンがついている人、手を挙げてください。玄関の横にちゃんとインターホンがついている、挙げてください。この人たちが被害に遭うんです。脅しているわけでも何でもないですよ。玄関の横ですよ。ここから縁台まで、道路から玄関まで距離があるとします。誰でもここまで入ってきていいですよという環境をつくっているんです。向かいの人が見てても、ここで一つ覚えてもらいます。侵入窃盗犯、泥棒です。一番多いスタイルは、警察庁がデータを取っています。一番多いのはスーツ姿、2番目が作業着です。一番疑われない格好な

んです。

さあ、作業着を着た人間が、誰のおとがめもなく敷地の中に入ってきて、玄関の横のインターホンを押します。2回押しても応答がない。3回目。周りの人は分かりませんよ。3回目に、誰も出てないのに、「遅くなりました。すみません。梅本です。分かりました。庭のほうへ回ります」、入ってくるんです。誰も疑いませんね。堂々とやれますね。ましてや作業着を着ていたら、工事屋さんなのかなと思うんですよ。

この住環境、ずっとこの国、日本の国を見てみると、玄関の横のインターホンがめちゃくちゃ多いんですよ。そして今出てきたのが、それが犯罪者の手口に最もありがたい環境になっているから、インターホンを道路側へ持っていく流れが今出てきました。

どうしたらいいか、それは一番お金がかからない方法は、ここへ1本くいを打って、ここにインターホンを取り付けて、インターホンを取り付けたくいから、こっちのほうにくいを打って、そこに、プラスチックのチェーンでも引っかけておけば、このインターホンで全部解決できますよね。そのチェーンをくぐったり、外したり、越えたりしていけば、はたから見ても、何、あの人はとなるじゃないですか。

でも、ここにくいを打って、インターホンはちょっとなあと、じいちゃん、ばあちゃんのうちだったらそれでもいいけど、あまり見た目よくないなという人は、機能門柱というのが今あります。そんなに高いものじゃありません。これを見てください。

【桜井】 画像をお出ししました。ここに照明がついています。表札があります。これがインターホンです。下に郵便ポストがあって、ここに宅配ボックスまでつ

いています。こういった機能門柱を活用してほしいですね。



《ネット画像》より

【梅本】 機能門柱を立てて、反対側にフェンスでもいいし、くいでもいいから、このところへプラスチックチェーンでもいいから引っ張っておいて、ちゃんとかけておけば、家の中に在宅していようと、家族みな留守であろうが一緒です。ここから先は私有地ですから、入らないでくださいという、よろしいですね。インターホンが玄関の横についていたら、玄関の前に変なやつがいて、110番したって、警察は連れていけないんですよ。私有地だという表示がしてないから。分かりますね。

また、犯人も言い訳がきくんですよ。「今インターホンを押して、ちょっと聞きたいことがあったんだけど」って言われたら、もう何も言えないじゃないですか。

この環境でみんな生活しているんですよ。

だから、犯罪者がやりたい放題の住環境ができています。今、これを何とか変えていこう、自分ところの敷地は人が簡単に入れない環境づくりをしようということで、この国は日本エクステリア工業会というのがある、柵や何かをやっている。そのこのホームページを見ていただくと、また梅さんがいっぱいしゃべっていますから。もうあかんど言っただけ、ちゃんと入り口のところは、本当はできたら門扉をつけて、そこにインターホンをつけて、できればそこに宅配ボックスをつける。そうしたら、一々、宅配ですと来た人に

玄関前で会う必要がなくなる。そこで対応したほうがいいよという話を今一生懸命しています。

だから、今の機能門柱の下に宅配ボックスがついてれば、宅配ですと来たときに、インターホンで、下の宅配ボックスの中へ入れておいてくださいと言ったら、押し込み強盗が怖い時代に対面しなくて済むじゃないですか。知識として、皆さん方に持っていただきたいんです。でも、そういう対策があるんだ。インターホンは玄関の横が当たり前だと思っていたけど、違うんだ。できれば道路際へ持って行って、うちの敷地に誰でもかかれでも入れるのはよくないんだということを、今日お見えになっている人たちに知っていただくことが一番大事なの。そして、それを家族にも、お友達にも、知り合いにも広めていっていただきたいと思います。

【桜井】 先生、今御質問いただいた方、御近所の方が何か変だなと思って声かけてくれて、110番してくださって、これすごいことなんですよ。

犯罪者が一番嫌がるというのは、その地域に住んでいる人たちに顔を見られて声をかけられることなんです。なので、今だんだん地域のコミュニティーというのがなくなってきているじゃないですか。

ここで、防犯でもそうですし、防災でもそうですし、今やはり力を入れなきゃねって言っているのが、地域のコミュニティーを再建しましょう、やっぱりコミュニティー大事だから、コミュニティー構築をもう1回やり直しましょうということが、もう本当に防犯の面でも防災の面でも、これ大事だねというふうに言われていることなので、もう一度御自身の地域に帰ったときに、うちのコミュニティーはどうだろうなということを考えていただいて、また、コミュニティー復活していただきたいと思います。

【梅本】 まずは、今日、お若い方、これから御結婚されそうな男の人、女の人、もいっぱいいるんですけど、家庭を持っても、防犯何も知らないという人がめちゃくちゃ多いんです。でも、今日は大分、皆さん、知識を増やしてもらった。

今日、大分勉強できたよと思う人、手を挙げてください。



【桜井】 ありがとうございます。

【梅本】 うれいそうですね。ありがとう。

【桜井】 勉強ついでにもう一つ、特殊詐欺についても、ちょっと触れようかなと思ったんですけども、今御実家に住んでいて、まだ固定電話のある方いらっしゃいますか。

【梅本】 実家に固定電話がある人。結構多いな。

【桜井】 うちに固定電話あるよという方。そういう方は、ぜひ、防犯電話機というのがあるんですよ。それを設置していただきたいなと思います。知っている電話からかかってきた場合は、この緑のLEDが、パッパッと光るんですよ。だから、安心して出られる電話。

電話機の電話帳に登録してないところは赤で光るんです。だから出なくてもいい電話、出る場合でもちょっと注意をしなければなないって、心構えをしながら出られる電話、こういう防犯電話機、それこそ電気の量販店に行けば売っていますので、そういうものに交換していただく

と。

【梅本】 何種類かメーカーから出ていますから、ぜひ、こういう防犯電話機を、敬老の日にはじいちゃん、ばあちゃんにプレゼントしてあげるのもいいと思います。

【桜井】 あと、若い方、今、若い方でもそうですし、高齢の方も皆さんスマホを持っていっぱいじゃないですか。今までは特殊詐欺というと、固定電話にかかってくるイメージが物すごく高かったんですけども、今、スマホにもかかってくるんですよ。

【梅本】 最近、スマホですよ、スマホ。やばいですよ。

【桜井】 やっぱりプラスからかかってくる。このプラスがついているというのは国際電話なんですよ。国際電話からかかってくるというと、もう皆さん、分かっているんじゃないと思いますけれども、その電話は無視してください。切ってください、出た場合でも。もうほとんどが詐欺の電話になりますので。このスマートフォンも、電話でないんですよ、このスマートフォンって。パソコンと同じだと思ってください。皆さん、パソコンにはちゃんとセキュリティをかけていると思うんですけども、スマホにもセキュリティをかけていただきたいと思います。ドコモ、ソフトバンク、au、各キャリアさんでちゃんとスマホのセキュリティやっていますので、私も入っているんです。私はドコモユーザーなんですけれども、ドコモのあんしんセキュリティというのが入っているんです。プラスからかかってくるとか、怪しい電話番号というのが警察が把握していたりとかする場合あるじゃないですか。そういう番号からかかってくると、注意してくださいとか、そういう表示が出ますので、スマートフォンの中にも必ずこういうセキュリティを入れていただきたいと思います。

【梅本】 警察からラインが来たとか、ラインが送られてきて、見たら、逮捕状が出たとか、100%ありません。

【桜井】 あり得ないことです。

【梅本】 あなたが捜査対象になっていきます。これもあります。信用しちゃ駄目です。みんな、「やべ、警察から」と、信用しちゃうんですよ。信用しちゃう駄目です。

【桜井】 だから、最終的に、スマホで電話を受けました、「何々警察署何々課の何々と申します。あなたが詐欺のマネーロンダリングに使われているようなんですよ、あなたの口座が。容疑がかかっています」と言って、警察をかたってくる電話がほとんどなんです、今。

最終的には、そこからビデオ通話だったりとか、ラインに誘導されますので、そういったものはもうすぐに電話を切るようにしていただきたいと思います。

【梅本】 切る勇気です。切っちゃえばいいんです。中には、「警察です」と言ったら切る人います。私はオーケー。警察も言っています。「こちら警察ですけど」と、もしスマホなんかにいきなりかかってきたら、消してもらって結構ですと言いますから。

【桜井】 大丈夫ですと。

【梅本】 興味持って、どんな話なんて聞かないほうがいいですよ。

【桜井】 つい最近出てきたのが、スマートフォンで逮捕状を見せられているという事案がすごく多かったじゃないですか、そういう事件が。そうしたら何とレターパックで逮捕状が送られてきたという詐欺の事件もあったんです。つい最近です。

なので、逮捕状が送られてきたりとか、スマートフォンの画面で見せられたりということは絶対にありませんので。

【梅本】 くどいように言います。100%ありませんよ。信用しちゃう駄目です。それ

ぜひお願いしたいと思います。

【桜井】 お願いしたいと思います。

【梅本】 最後に何か御質問、ほかにないですか。どなたでも結構です。一番奥にお見えでございます。

【質問者】 関係者ですみません。

今日はありがとうございました。

今までの話だと、どちらかというと、個人として気をつけるべきことみたいなものがほとんどだったかなと思います。

今日お集まりいただいているお客様が、大体が自治体の職員、市役所、役場の職員なんです。なので、先生方から、役場の職員、いろいろな職種の人がいるんですけど、に対して何かアドバイス、仕事上でも結構ですし、自治体として少しやったほうがいいんじゃないのみたいなところのアドバイスをいただけるとありがたいと思います。よろしくお願いします。

【梅本】 自治体の方といっぱいお付き合いもしているんですけど、お金のかかることは、お願いしてもなかなか横へスルーしちゃうんですけど、お金のかからないことがあります。それは何かといったら、地域の中に、今言った顔を見る声かけ運動を広げることです。これを何かといって声をかけよう。

犯罪者は、何といろいろな防犯対策あります。警備会社のシールだとかパトカーだとか、犬を飼っているとか、カメラがついているとか、いろいろな対策があるんですけども、過去10年以上ずっと一番俺はそれが嫌だという対策は、顔を見られて声かけられた、これが一番。

【桜井】 そうなんです。その地域の人たちに顔を見られて、声をかけられたというのが、そうなんですよ。

分かるかな。ここに。顔を見られて声をかけられたから諦めたという、ちゃんとデータで出ているぐらいなんです。これはちゃんと警察庁が調べて、こういう

結果でしたよということなんです。

【梅本】 それと地域防犯パトロール、結構前橋もやっていると思いますし、県としてもたくさん、群馬県として防犯パトロールやっている方多いんですけど、そういうパトロールの方と同行しますとね、夕方なんか歩いていると、「こんばんは」「おう」というのが、みんな知り合いなんです。分かります？ 知り合いに声をかけたって意味がないんですよ。知らない人です。見たことない人、知らない人に声をかけることが大事なんです。

ですから、皆さん方、行政の方ともし御縁があったら、あるいは行政の中にいたら、そういった防犯協会のパトロールをしている人たちに、何か防犯対策で一番いいのは、知らない人に声をかける運動らしいですよと、ぜひ言ってください。ぜひ言っていただきたいんです。これ、みんな分からないんですよ。私たち、そういうパトロールに同行すると、知り合いに声をかけて、「こんばんは」「どうも」とかと。知り合いなんか声かけなくていいんだよ。知らない人に声かけて何ぼなんです。

そうすると、何か犯罪をもくろんでいる人間は、地域の人に声なんかかけられたら、やめちゃうんですよ。そう言っていますから。犯罪者がやめちゃうって言うことが何よりの防犯ですから、これをぜひ行政の中で広めていただきたい。それと併せて、鍵をかけようよ。まずは鍵かけようよ。そうしたら侵入犯罪5割防げるんだって。鍵をかける、これはお金かかりません。声をかける、これもお金かかりません。かけるなんです。かける。何かをかける、かける、声をかける、これが一番大事なことでございますから、よろしくお願いをしたいなと。鍵をかける、声をかける、かけるかけるかけるでございます。



《ネット画像》より

【桜井】 あとは、やはり、さっきの公園のベンチ、うちの近くの公園のベンチちょっと心配だわって言ったら、行政さんのほうにお願いをするとか、あとはうちの地域ちょっと暗いわよねって、やっぱり犯罪者って明るいところを嫌います。もうちょっと街灯を増やしてほしいよねとか、防犯カメラつけてほしいよねとか。

【梅本】 そのときに、今の行政の方、今そういったお仕事をしている方は、今照明、明るくしてくれという声が、要望が多いんですけど、さっき地域の中の犯罪データが検索できると言いました。いいですか、ひったくり、痴漢、子供、女性の声かけ事案、この3つが多発している地域を優先的に明るくしてくださいということは知っておいていただきたいと思います。申込みの順だけでやっていくという堅苦しいことを言っている場合じゃないです。犯罪が起きたところは最優先で、理由があって犯罪が起きているんです。やりやすいという。だから、明るく

するというのは大きな防犯対策効果がありますので、行政の方々は、ぜひひとつ、そういった照明器具を外の街灯をつけるときに、優先的に犯罪事例というものを参考にしたいというアドバイスをさせていただきたい、そんなふうに思いますので、よろしくお願いをしたいと思います。

【桜井】今日は盛りだくさんでお話をしてまいりました。

【梅本】 まだまだ言い足りないこといっぱいありますけど、大事なことは伝えたつもりでございます。

【桜井】 そうですね。今日お話しさせていただいた防犯対策、やれるところからでいいですから、1つずつ増やしていただきたいと思います。さっきは泥棒で、空き巣、忍び込み、居空きが増えているよとお話ししましたがけれども、何と住宅対象の強盗が500%も増えているんです。

【梅本】 怖いですよ、強盗は怖い。

【桜井】 そういう人間がやりやすい環境になってしまっているということです。ぜひ防犯対策、1日でも早く検討して対策、実践していただきたいと思います。

【梅本】 不審車両、言いましたね。あれに該当する車があったら、勇気を出して110番してください。お願いします。

そうしたら犯罪者がうろうろしにくい環境ができますので、ぜひお願いをしたいなと、そんなふうに思いますので、よろしくお願いをしたいと思います。

「梅と桜の YouTube」ぜひ御覧になってください。新しいネタいっぱい出していきます。結構面白いネタもありますから、ぜひとも御覧になっていただいて、皆さんが被害に遭われませんよう、よろしくお願いいたします。ありがとうございます。(拍手)

【司会】 梅本様、桜井様、本当にパワフ

ルな貴重なお話をいただきました。大変ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、本日の御講演は終了となります。お忙しい中、貴重なお話をいただきました梅本様、桜井様、これで退席となりますので、皆様の、いま一度、盛大な拍手でお見送りをしたいと思います。大変ありがとうございました。(拍手)

すぐできる60歳からの自宅防犯ワザ

100



「自力」で命を守る!

帰ったら「ただいまー」という

傘立てに若い男物の傘を立てる

機能門柱を使う

防犯カメラはAIカメラに

etc. 宝島社



防犯アナリスト
日本防犯学校副会長

桜井礼子

**最新の防犯住宅ガイドから
0円でできる撃退術まで!**

防犯の専門家が書いた決定版!

《ネット画像》より



群馬県議会報告

自治労の政策課題を 会派の垣根を超えた議論で形に

1. カスタマーハラスメント条例が成立

顧客が企業や店舗、行政窓口に対して理不尽な要求・クレームを行うカスタマーハラスメント（以下「カスハラ」）への対応は、窓口業務やケース対応などの対面業務の多い自治労においても重要な政策課題です。

2024 年 5 月に、後藤は流通・サービス企業を多く抱え、カスハラが深刻な課題となっている産別 UA ゼンセンと共に知事に条例制定の要請を行い、知事からも深い理解をいただいたことを皮切りに、9 月の一般質問では後藤のみならず、自民党の穂積議員（現太田市市長）からも制定を求める質問をいただき、会派の垣根を超えた共通課題として議会からも強く後押しをしました。

その結果、年度内のスピード制定を目指す方針が示され、また条例を検討する有識者会議メンバーに連合群馬と UA ゼンセンの代表者が選出されるなど、労働者側の意見もバランスよく反映させる形で検討が進められました。

2025 年 4 月に施行となった条例は、「カスハラ行為の明確な禁止」を謳い、また県・事業者・顧客・就業者全員の責務を課す規定により、社会全体でカスハラをなくすことを目指す内容となっています。

今後の課題として、カスタマーハラスメントは「禁止すべき行為」とあるという条例の意義が浸透することで一定の抑止力は出てきますが、本当に重要なのは条例をどう実効あるものに運用していくかです。県内企業のカスハラ対策の推進や、三重県が導入した「罰則規定」の運用状況を注視しながら、不断に施策をアップデートしていく努力が必要となります。

2. 公契約条例の議論が大詰め

昨今の物価高を受け、政労使が協力した賃上げの機運が高まる中で、大手企業を中心に賃上げの流れが加速しつつありますが、地場中小企業には依然として低賃金と人手不足が解消されない状況が続いています。

後藤は 2024 年 9 月の一般質問において、地域で賃上げの好循環を創るため、自治体が発注する工事や委託業務等を通じて、受注する企業の適正な利益と、従事する労働者の適正な労働条件を確保、さらには障がい者雇用や男女共同参画などの社会的価値の向上を目的とする「公契約条例」が今こそ必要な政策であると提言しました。

その後、党会派を超えた理解醸成に努力し、2025 年 2 月の会派代表質問において、自民党の井下県議（現議長）が公契約条例制定を知事に提言。議会からの要望に後押しされる形で 2025 年度中の制定を目指す方針が示されました。

今年度入り、条例を検討する外部有識者会議に連合群馬の代表者もメンバーとして入り、県議会では公契約条例を主要テーマとして検討する地域支援対策特別委員会が設置され、後藤も委員として所属し、条例をより実効あるものにするよう議論を深めました。

条例制定後に執筆する機会があれば詳述したいと思いますが、単なる理念型条例でなく実効あるものにするためには、ダンピング入札等が起きない仕組みや、事業者に対して適正な賃金・労働条件を確保しているかについて報告を求め、必要に応じて調査監督ができる仕組み等が必要であると後藤は強く提言してきました。現在パブリックコメントが実施されている素案については概ね提言に沿った内容となっています。

3. 指定管理者制度における賃金・物価スライド制度の導入

公契約条例にも関連する課題ですが、指定管理者制度は5年程度の長期間に渡る契約であることから、近年加速する賃金・物価の上昇によって、当初協定時の管理料ではコスト増に対応できないという課題が生じています。

後藤は、指定期間の途中でも賃金・物価の上昇に応じて柔軟に管理料をスライドできる仕組みの導入を提言し、現在県において検討を進められています。



シルバー人材センターの現状と課題

(一財) 群馬県地方自治研究センター

理事長 黒澤孝行

少子高齢化と人口減少により、65 歳以上の高齢者の大きな役割として元気な高齢者が地域社会で活躍し、地域活性化の大きな役割を担っていかねばならなくなってきました。しかし、各地域の団体、行政区の役員（区長、自治会長、民生委員、等々）の年齢構成は 70 歳を超えてきているのが現状です。

もう一方で、高齢者の就労意欲は極めて高く、元気な高齢者に、労働力不足を補ってもらおうというのも現実味を帯びてきています。各団体、各企業においても高齢者の存在なくして組織が回らなくなっています。そのような中で、各自治体に設置されている「シルバー人材センター」は、現在大きな転換期を迎えています。かつては「リタイア後の生きがいづくり」が主目的でしたが、2026 年現在は、深刻な労働力不足を背景に「地域の貴重な労働力」としての役割がより強く期待されるようになっていきます。今、どのような役割を担っているのか、現状と課題について調べてみました。

1. 成り立ち

1975 年、東京都が、シルバー人材センターの先駆けとなる「高齢者事業団」を創設し、「自立・自助・共働・共助」の理念のもとに社会参加していこうという発想が多くの人々の共感を得て、全国に広まりました。

1980 年度から、国の補助事業として「シルバー人材センター」の名のもとに全国的に事業展開され、各市町村での設置が相次ぐ中、1980 年（昭和 55）12 月、情報交換、経験交流を図ることを目的としたシルバー人材センターの全国組織として「全国高齢者事業団・シルバー人材センター等連絡協議会」（全国シ連）が発足。1982 年（昭和 57）7 月、全国高シ連を発展的に改組し「社団法人全国シルバー人材センター協議会」（全シ協）が発足となりました。

1986 年（昭和 61）には、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の成立により、シルバー人材センター事業が法制化され、名称を「社団法人全国シルバー人材センター協会」に変更して、同法に基づく法人として、厚生労働大臣の指定を受けました。

公益法人改革により、2012 年（平成 24）「公益社団法人シルバー人材センター事業協会」とあらため、現在に至っています。

【豆知識】なぜ「シルバー」？「シルバー」という言葉は、1950 年代に国鉄（現 JR）が導入した「シルバーシート（優先席）」に由来すると言われています。高齢者を敬い、かつ明るいイメージを持つ言葉として、事業の名称に採用されました。

2. 群馬県では

群馬県内には、31 自治体（12 市、19 町村）に設置されており、「群馬県長寿社会づくり財団」をトップにして、群馬県シルバー人材センター連合会を組織し、情報交換等を行い、各シルバー人材センターへの指導、助言を行っています。

群馬県のシルバー人材センターは、従来の「高齢者の生きがいづくり」という側面に加え、**「地域の人手不足を補うプロフェッショナル集団」**へと変革を迫られています。今後は、デジタル化への対応や、働き方の多様化（週 1 日から、数時間からなど）をどれだけ進められるかが鍵となります。

※群馬県や各センターでは、課題解決に向けて以下のような施策を展開しています。

施 策	内 容
シルバー派遣事業の推進	製造業やサービス業など、人手不足の現場へ「派遣」として高齢者を送り出し、多様な職種を確保。
技能講習の充実	調理アシスタント、剪定、介護補助などの講習を行い、未経験者でも安心して働ける環境を整備。
独自事業の展開	地域独自の特産品販売やパソコン教室、生活支援「お助け隊」など、地域貢献度の高い事業。
シニア就業支援センターとの連携	県の「シニア就業支援センター」と連携し、再就職・起業・ボランティアなど幅広い相談窓口を設置。

3. 組織の現状

近年のシルバー人材センターを取り巻く環境は、令和 3 年 4 月の「改正高齢者雇用安定法」の施行により、65 歳までの雇用が各企業に義務付けられ、70 歳までの定年引き上げ、継続雇用制度の導入により、シルバー人材センターへの入会者の年齢が大幅に引き上がり、そのほとんどが 70 歳を超えているのと同時に、入会者が減少傾向にあります。そのため、会員の高齢化も大きな問題になっており、別の課題も発生しています。

◆会員の高齢化と減少傾向 定年延長（65 歳までの雇用継続）や、70 歳までの就業確保措置の努力義務化により、元気な 60 歳代が企業に残るようになりました。その結果、センターへの新規入会年齢が上がり、会員の平均年齢も上昇（70 代後半が中心）しています。

4. 働き方について

会員が働く働き方は、基本的には、「請負」契約とされ、おおむね月 10 日程度の就業、一週間当たりの労働時間が、おおむね 20 時間を超えない連続的な就業となっています。

請負とは、特定の仕事の完成（成果物）を約束して、その結果に対して報酬を得るものであります。請負人は、独立して業務を行うため発注者からの具体的な指揮命令はない。しかし、今多くのシルバー人材センターで働いている業務内容が、上記のような事項に該当するのか、大きな疑問が残ります。その多くは、労働者性を有しており、本来雇用契約を結ぶべき業務がその多くを占めているのです。つまり、労働法が適用されないため、労働時間中の休憩時間、休息時間は適用されず、通勤費は支払われず、労働災害保険法は適用されない、最低賃金法も適用されないなど、多くの課題が積み残されているのです。民間企業では、近年、偽装請負契約が問題になり、訴訟にまでなって争われています。

シルバー人材センターも、これを注意深く見守っていく必要があります。

◆多様な働き方へのシフト 従来の「請負・委任」契約だけでなく、発注者の指揮命令を受けられる **「労働者派遣事業」** への参入が進んでいます。これにより、スーパーのレジ打ちや介護補助など、より幅広い仕事に対応できるようになっています。

☆「請負」と「シルバー派遣」の比較

シルバー人材センターの仕事には、大きく分けて **「請負（うけおい）・委任（いにん）」と「派遣（はけん）」** の 2 つの形態があります。

この 2 つの最大の違いは、**「発注者が会員に対して直接指示（指揮命令）ができるかどうか」** です。

比較項目	請負・委任（時間に拘束され ることなく自分のペースで働 きたい方）職種を確保。	シルバー派遣（決められた日 数・時間等で定期的に働きた い方）
仕事の期間・内容	臨時的・短期的な就業（概ね月 10 日程度以内）又は軽易な業 務（週 20 時間未満）境を整備。	同左
雇用関係の有無	なし	あり
発注者の指揮命令	受けない	受ける
会員に関する報酬	配分金（雑所得）	配分金（雑所得）
契約解除	契約解除可能	一方的に解除できない

5. シルバー人材センターの今後の役割

高齢者の「生きがい」「社会参加」を支援する重要な役割を担っている「シルバー人材センター」の果たす役割は、今後ますます重要になってきています。近年の物価高で、もう少し働きたい、収入を増やしたいという会員が増えてきています。一か月10日程度、一週間当たりの労働時間が20時間を超えない、という制約がある中で、手取りの金額を増やしたい、実質的な生活費の補填になっている状況をどのように改善していくのか、大きな課題になっています。

また、多くの産業において、人手不足は深刻な問題であります。特に、福祉、介護の職場では喫緊の課題であり、経験豊富な、元気な高齢者を福祉の職場で有効活用することができれば大きな前進であります。高齢者に合った、労働時間、仕事の切り分けなどの創意工夫により、雇用の確保の面からも、シルバー人材センターの果たす役割はたいへん重要になっています。

シルバー人材センターの今後の役割は、単なる「シニアの作業所」から、**「地域共生社会を支える不可欠なインフラ」**へと大きく進化しようとしています。

6. 終わりに

地域の高齢者が、就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくり、健康維持としての役割を、シルバー人材センターは担っているものであり、地域の特性や実情を踏まえて積極的な取り組みが求められているのです。

◆「生きがい」から「労働力」へ 人手不足に悩む自治体や民間企業にとって、人材センターは「最後の頼みの綱」となりつつあり、清掃や除草といった軽作業から、子育て支援や専門スキルを活かした業務までニーズが多様化しています。

【まとめ】シルバー人材センターは、単なる「お年寄りの集まり」から、**「地域を支える多機能型ワークシェアリング拠点」**へと進化を求められています。今後は、安全性を確保しつつ、いかに多様なシニアのニーズに合致した「新しい働き方」を提供できるかが鍵となります。



出典：太田シルバー人材センター

請負または委任による仕事

項目	請負または委任契約
仕事の期間・内容	臨時・短期的な就業(概ね月10日程度)または軽易な業務(週20時間程度)
発注者からの指揮命令	受けない
事故時に適用される保険	団体傷害保険・総合賠償責任保険(シルバー保険)
発注者との契約当事者	公益社団法人 太田市シルバー人材センター
社会保険・雇用保険の適用	なし
発注者に対する請求額	請負金額に事務費2%(消費税別)

シルバー派遣事業

項目	シルバー派遣
仕事の期間・内容	臨時・短期的な就業(概ね月10日程度)または軽易な業務(週20時間程度)
発注者からの指揮命令	受ける
事故時に適用される保険	労働者災害補償保険
発注者との契約当事者	公益社団法人 群馬県長寿社会づくり財団
社会保険・雇用保険の適用	なし
発注者に対する請求額	派遣料金に別途手数料20%(消費税別)

※注1 派遣法で定められている①派遣派遣業務 ②建設業務 ③警備業務 ④病院等における医療機動の業務については、派遣することが出来ません。

※注2 高齢者にとって危険または有害な作業については派遣することができません。

ご依頼からお支払いまでの流れ

- 1 仕事のご依頼**
まずはお電話にてお申込みください。
- 2 仕事内容の確認・お見積り**
仕事の詳細・条件など話し合いの上、ご契約方法と概算金額を算出します。
但し、危険または有害な作業、重労働と思われる場合はお引き受けできないことがあります。
- 3 会員の選定**
会員の中からご依頼の仕事の条件に合った会員を選定します。
(お仕事によっては会員の選定にお時間がかかる場合がございます。)
- 4 ご契約**
請負・委任契約の場合は、太田市シルバー人材センターと締結します。
シルバー派遣の場合は、群馬県長寿社会づくり財団と締結します。
- 5 仕事の実施**
会員が就業します。
- 6 お支払い**
請求書に記載のお支払い曜日までにお支払いします。
なお、振込手数料はお客様負担となりますので、ご了承ください。

シルバー人材センターご利用のメリット

- 労務管理(社会保険料、労働保険料、福利厚生費金等)の必要がありません。
(万一のケガの場合は、センターが加入する団体傷害保険に対応いたします)
- センターへのお支払いは外注扱いになりますから、人事費扱いの経理処理をする必要がありません。

裏面はお仕事の一例です。

ご家庭は
もちろん

企業や施設などのお仕事もお任せください!

お仕事の流れは

**公益社団法人
太田市シルバー人材センター**
〒373-0043 太田市西野谷町67番地1
TEL.0276-47-5635
FAX.0276-47-5636

